MSD22-26002

シグネチャーイルミ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタシグネチャーイルミをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、 正しい取り付け、 取り扱いを行なってください。

●本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	年式	備考
MSD22-26002	ハイエース	'26/2 ～	―

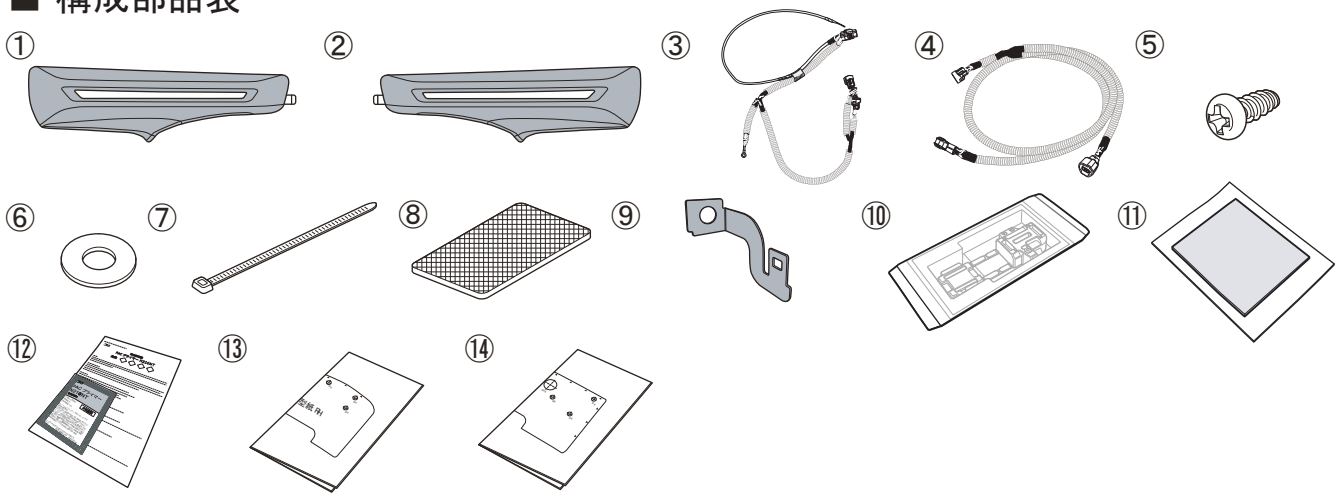
・最新の適合情報はモデリスタカタログサイトをご覧ください。 http://www.modellista.co.jp/
・本商品とフロントスポイラーを同時装着する場合は、 本商品を先に取り付けてください。

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	シグネチャーイルミ RH	1	
②	シグネチャーイルミ LH	1	
③	電源ハーネス	1	
④	バンパー側ハーネス	1	
⑤	タッピングスクリュー	6	M4 x 10 ㎜
⑥	ワッシャー	6	M4
⑦	結束バンド	21	
⑧	クッションテープ	4	50 x 100 ㎜
⑨	ヒューズ固定用ブラケット	1	
⑩	エレタップ	1	
⑪	シールテープ	1	40 x 50 ㎜
⑫	PAC プライマー	1	N-210NT 相当、 取扱説明書含む ※1
⑬	型紙 RH	1	
⑭	型紙 LH	1	

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。
※1 フロントバンパーが素地の場合は、 別途「3M PAC プライマー K-500」を準備してください。

■ 構成部品表



取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、 安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、 誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、 重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、 誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、 ケガをしたり、 車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを 記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

⃠ 本商品への改造・加工、 及び適合車種以外への装着は、 重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、 本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、 確実に締付けてください。 締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 本商品を取り付け前に、 本体・構成部品がすべて揃っていること、 損傷や不具合が無いことを確認してください。 取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、 対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、 キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、 同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。 取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

⚠ 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、 清潔なウエスを使用して、 イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、他の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、 パーツクリーナー、 ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。 正しく脱脂が出来ず、 浮きや剥がれの原因となります。

⚠ 両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、 接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、 環境温度が 20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は 49N（5Kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後 24 時間は、 洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、 かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、 製品の浮きや剥がれの原因となります。

⚠ 取り付けが終わったら

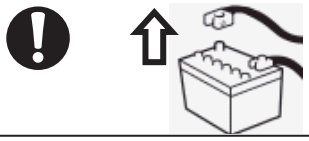
❗ 取り付け後、 本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、 作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化は、 GTS などのツールが必要な場合があります。

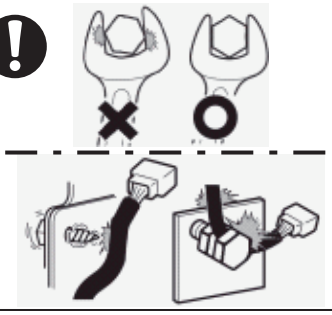
LED ランプ配線取り付け上の注意事項

- ビニールテープをご使用の際は、 必ず難熱性の耐熱ビニールテープを使用してください。
  推奨品：Ｖ９６５０－０４８４（耐熱ビニールテープ・灰色）
- バッテリー復元作業後は、 機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
  取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、 初期化・調整作業の有無をご確認ください。



取り付ける前に

・作業前に、 必ずバッテリーの （－） 側ケーブルをはずす。



部品を取り付ける際は

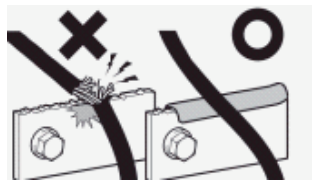
・部品サイズにあった工具を使用する。

・部品の裏側に注意して、 配線の噛み込みやビスの接触、
断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

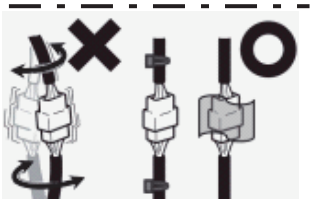
・コネクターは必ず本体を持ってはずし、 配線は引っ張らない。



・バリ・エッジ部は、 保護シート等で保護をする。



・コネクターは「カチッ」と、 音がするまで確実に接続して、
配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、 締めすぎない。
・結束バンドの余った部分は、 エッジにならないようにカットする。
・カットした端末が、 ほかの配線と接触しないようにする。
・コネクターが振動により異音がしないように、 確実に固定する。

⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う際は、 エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、 品番・適合車種、 構成部品、 構成部品表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 取り付け上のご注意 (取り付け作業者の方へ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. LED ランプ配線取り付け上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. 目次、 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、 保証について、 取り付け構成図 ・・・・4
5. 準備作業、 取付作業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 ～ 25
6. 取付完了後の点検・注意事項、 回路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

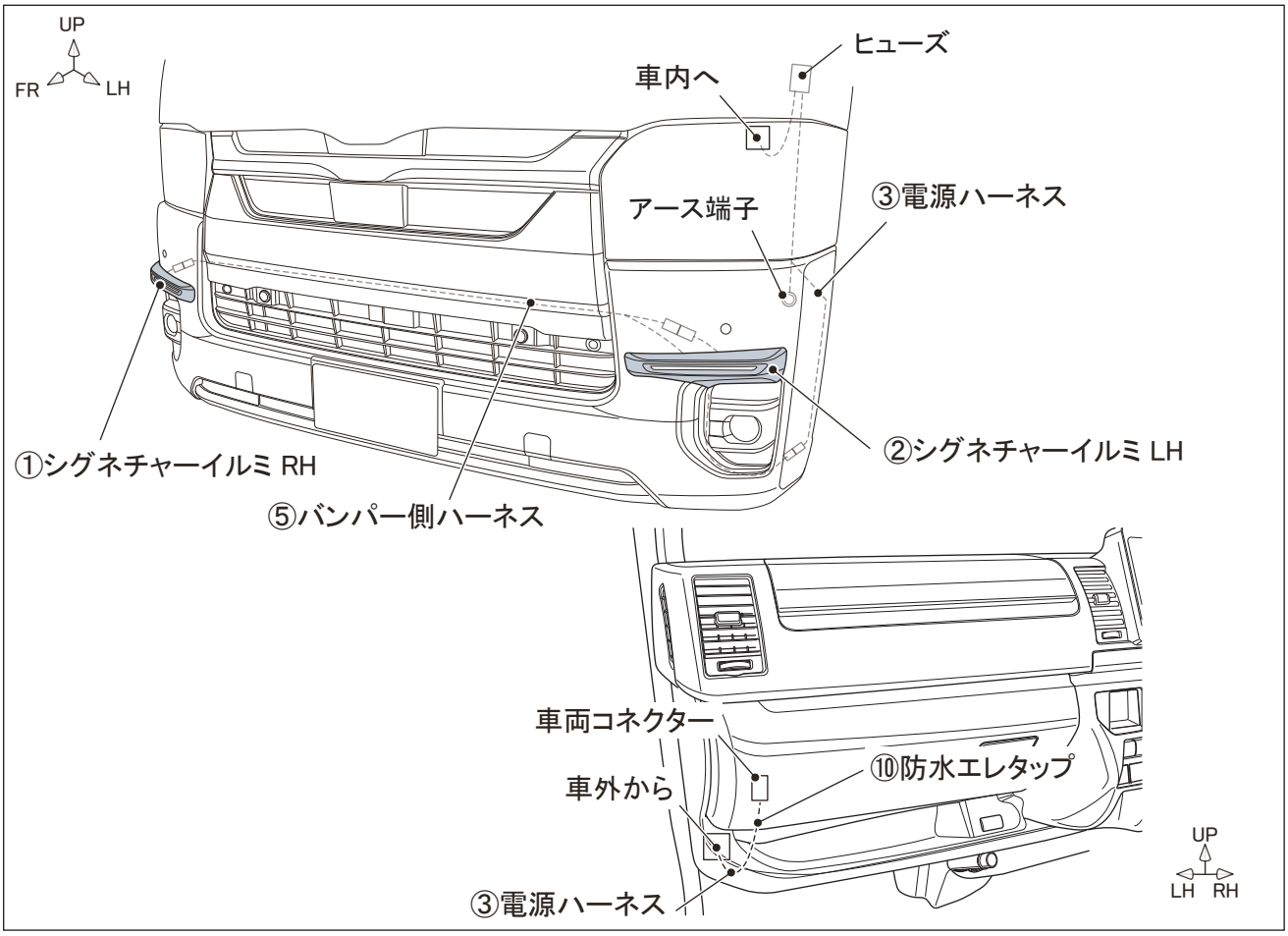
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- 一般工具・トルクレンチ
- 加工用工具 (ニッパー・ハサミ・カッター等)・保護メガネ
- キリ・電動ドリル (刃 :3.0 ㎜ / 6.0 ㎜ / 8.0 ㎜) ホルソー φ14 ㎜、φ30 ㎜
- 保護手袋・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- イソプロピルアルコール (IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

- 本商品の保証を受けられる期間はパーツを車両に装着された日から 1 年間となります。
  ただし、 その期間内でも走行距離が 20,000 kmまでとなります。
  ※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト <https://www.modellista.co.jp/>
  「保証について」 をご覧ください。

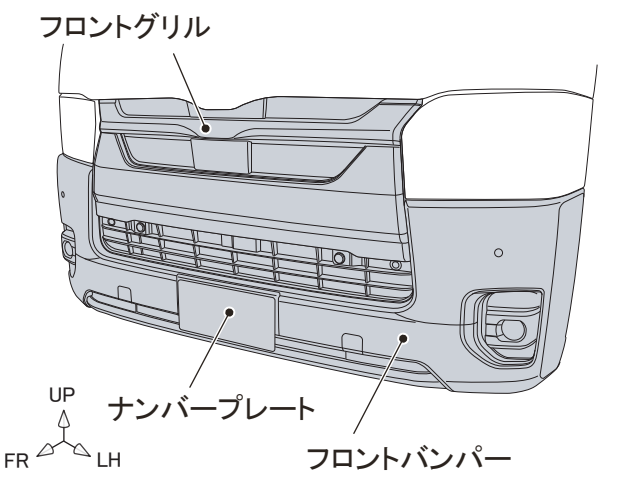
■ 取り付け構成図



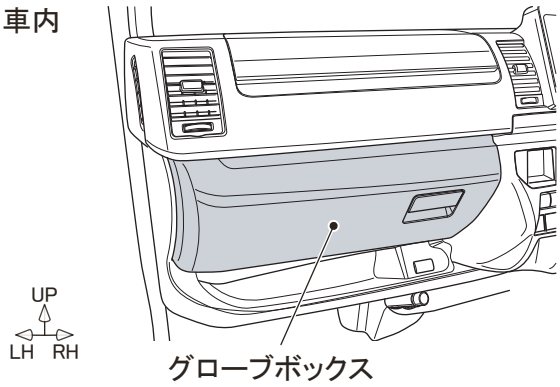
■ 準備作業

1.車両部品の取り外し

車外



車内



(1) バッテリーのマイナス端子を外します。

> ⚠注意
> バッテリー復元作業終了後に、 車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
> 車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
> ※車両システムの初期化は、 GTS 等のツールが必要な場合があります。

(2) フロントグリル、 ナンバープレート、 フロントバンパー、 サイドステップ、 グローブボックスを車両修理書に従い取り外します。

> ⚠注意
> 車両部品を取り外す際、 裏側のコネクターを断線させないように注意してください。

> ⚠注意
> 取り外した車両部品、スクリュー、 クリップは再利用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

> ⚠注意
> 本製品とモデリスタフロントスポイラー Ver. I [LED 付き] を同時装着する場合は、 本製品を先に取り付けてからモデリスタフロントスポイラー Ver. I [LED 付き] を取り付けてください。

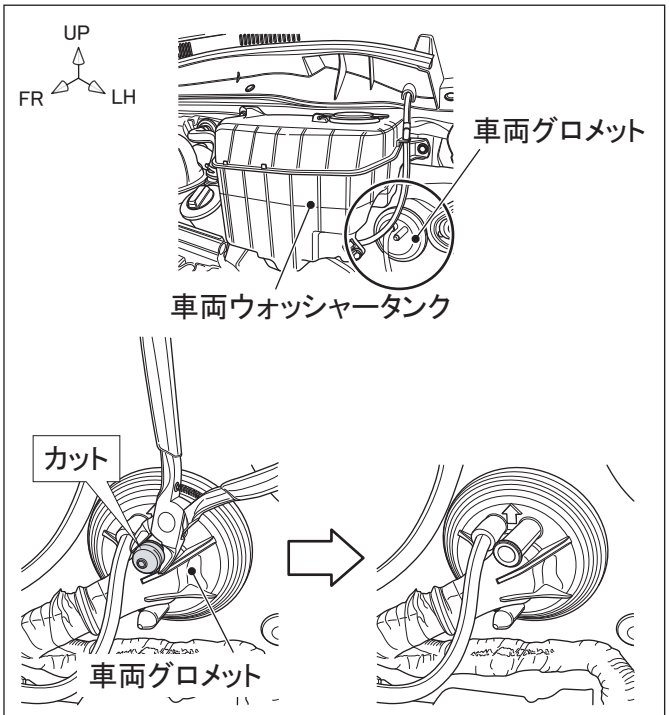
■ 取付作業の選択

本商品の取り付ける際、 同時装着される製品により、 行なっていただく作業と、 行わない作業を選択する必要があります。 下記の表をご確認いただき適切な取付作業を選択してください。

選択 1	モデリスタ フロントスポイラー Version I [LED 付] GR フロントスポイラー [LED 付]　　のどちらも装着されていない場合
・全ての構成部品を使用します。 ・取付作業 1. 車両グロメットの加工 から作業を行います。	
選択 2	モデリスタ フロントスポイラー Version I [LED 付] が装着されている場合
・構成部品③電源ハーネス、⑦結束バンド 7 本、⑧クッションテープ 1 枚、⑨ヒューズ固定用ブラケット、⑩エレタップ、⑪シールテープは使用しません。 ・取付作業 8.③電源ハーネスの車外側の固定 の点灯確認作業から行います。	
選択 3	GR フロントスポイラー [LED 付] が装着されている場合
・全ての構成部品を使用します。 予め GR フロントスポイラー [LED 付き] の接続ハーネス（車両側）を取り外してから作業を行ってください。 ・取付作業 2.③電源ハーネスのヒューズ固定 から作業を行います。	

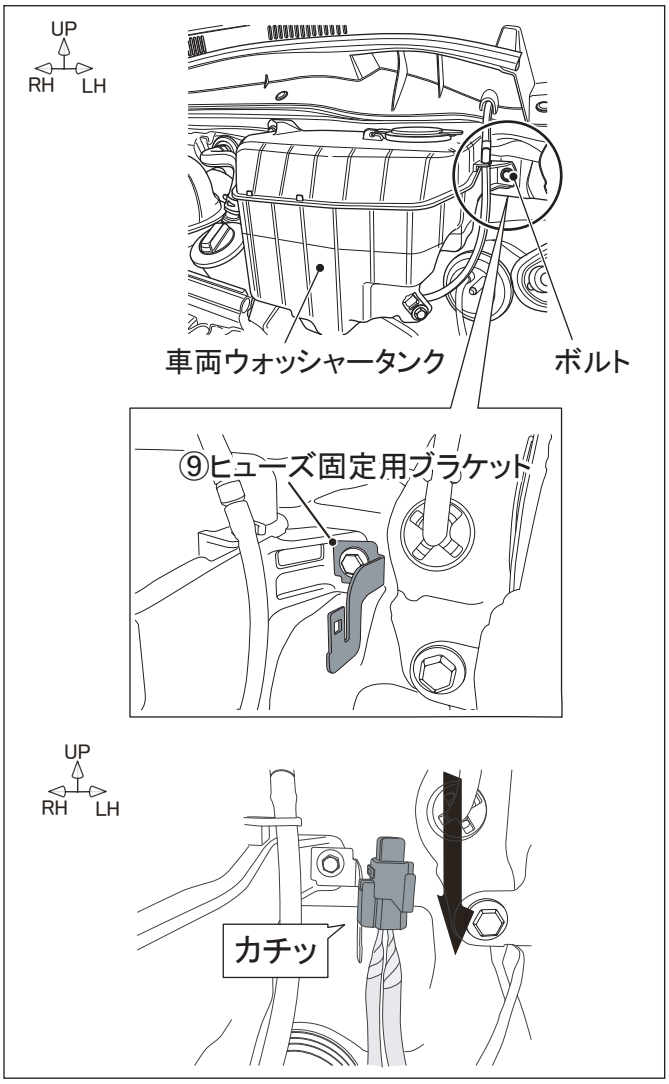
■ 取付作業

1. 車両グロメットの加工



(1) 左図を参考に車両のグロメットを加工します。

2.③電源ハーネスのヒューズ固定



(1) 左図を参考に車両ウォッシャータンクを固定しているボルト (1 本) を取り外します。

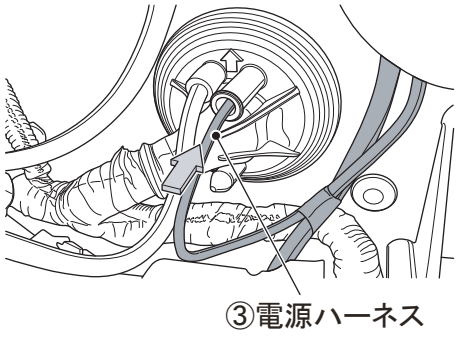
(2)⑨ヒューズ固定用ブラケットを (1) で車両から取り外したボルトを使用して取り付けてください。

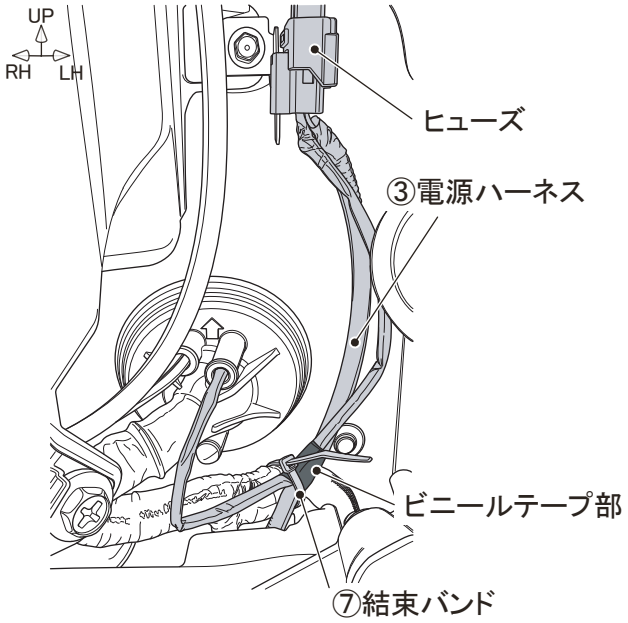
⚠注意

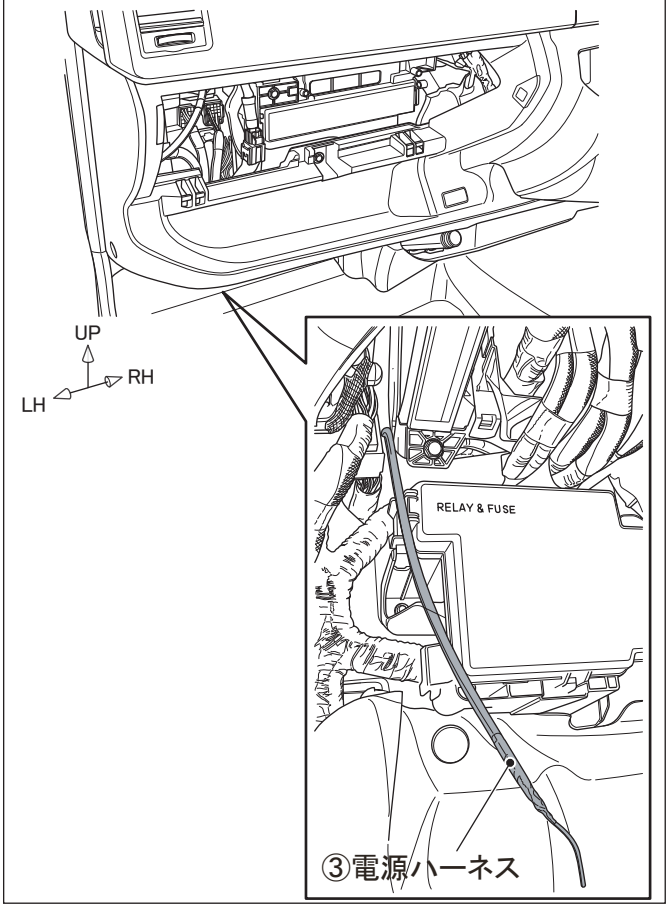
ボルトの締め付けは、 車両修理書に従い規定のトルクで行ってください。
締め付けトルク : 4.9N・m

(3)(2) で固定した⑨ヒューズ固定用ブラケットに③電源ハーネスのヒューズ部を「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

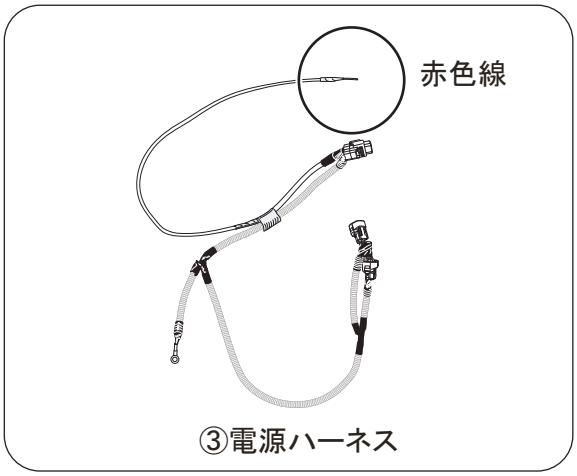
3.③電源ハーネスの車内への配線







(1)1.(1) で加工した車両グロメットの穴に、③電源ハーネスの赤色線を挿入して車内側へ通します。



(2)③電源ハーネスのヒューズから車両グロメットまでの長さを、 左図を参考に調整します。

(3) 左図を参考に⑦結束バンドを使用して、③電源ハーネスのビニールテープ部を車両ハーネスへ固定してください。

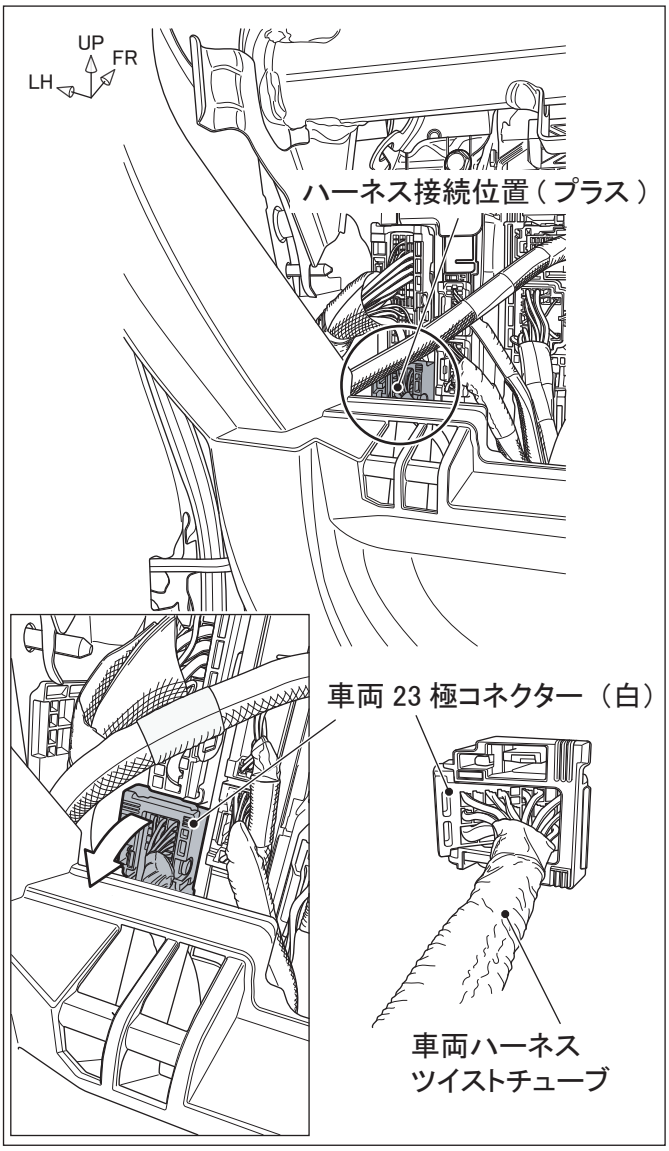
(4) 車内のグローブボックス下部を覗いて、 車外側から③電源ハーネスが通っているか確認します。

(5) 左図を参考に③電源ハーネスを手前に取り出します。

⚠注意

③電源ハーネスを取り出す際は、 強く引っ張り過ぎない様にしてください。

4. 車両コネクタの取り外し

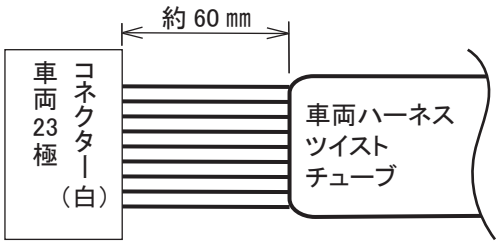


(1) グローブボックス下の車両コネクター配列の中から、 電源取り出しで使用する、 左図◯部コネクターを確認します。

(2) 車両 23 極コネクター（ 白 ）を固定しているレバーを下げてコネクターのロックを解除します。

(3) コネクターを取り外します。

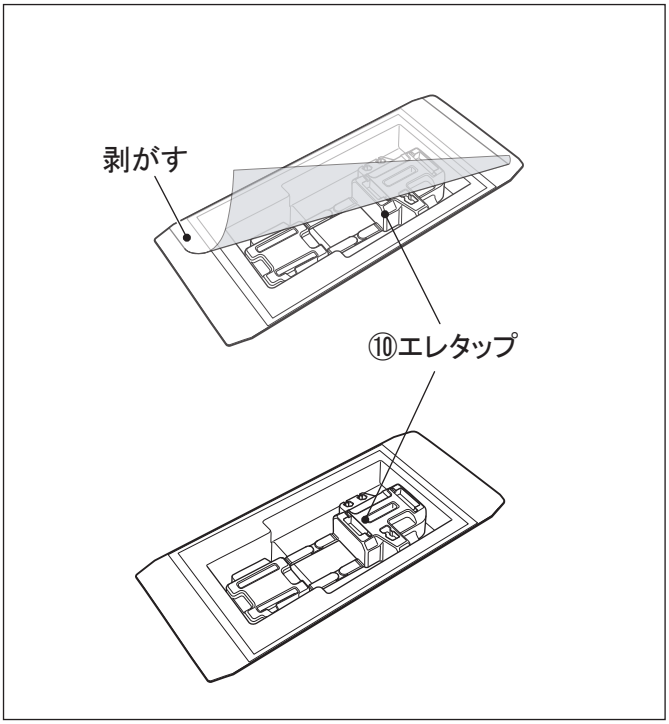
(4) 取り外したコネクターからツイストチューブまでの長さが 60 ㎜となるように、 覆っているビニールテープ及びツイストチューブをカットします。



⚠注意

ビニールテープ、 ツイストチューブをカットする際、 配線を切らないように注意してください。

5.③電源ハーネス（ 赤色線 ）の接続

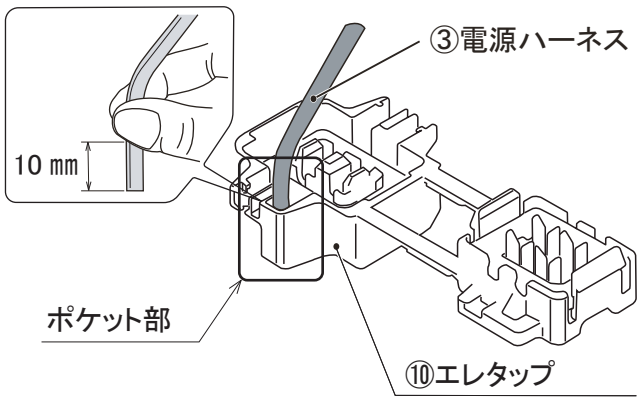


(1)⑩エレタップを取り出します。

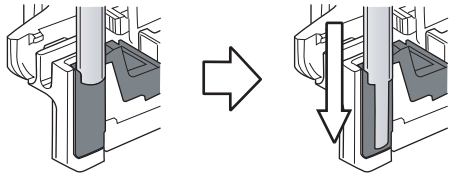
⚠注意

⑩エレタップ取り扱いの注意事項

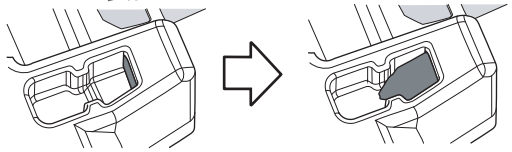
・トップテープを剥がした状態で、 放置しないでください。 機能が損なわれる場合があります。
・コネクター嵌合部にシール剤を設けています。嵌合部に砂塵、 異物などが入らないようにご注意ください。
性能が損なわれるおそれがあります。
・嵌合部に針金や先端が細い工具などを入れないようにしてください。 コネクターが嵌合できなくなり、 接触不具合のおそれがあります。
・シール剤およびターミナルには触れないでください。
・一度ご使用になられたものは再度使用しないでください。 又、 修正が必要な際は、 コネクターを車両ハーネスに付けたままテープ等で絶縁処理してください。



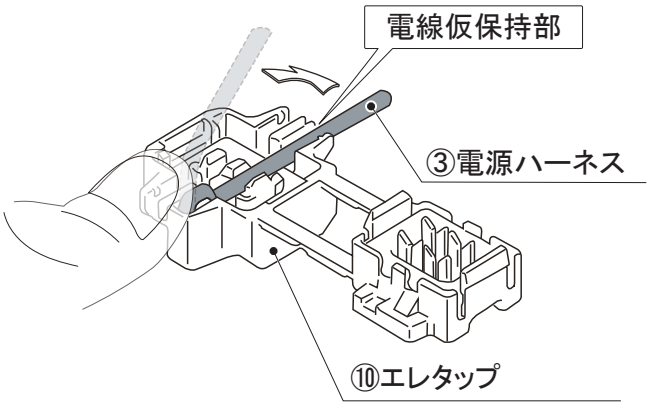
ポケット部断面

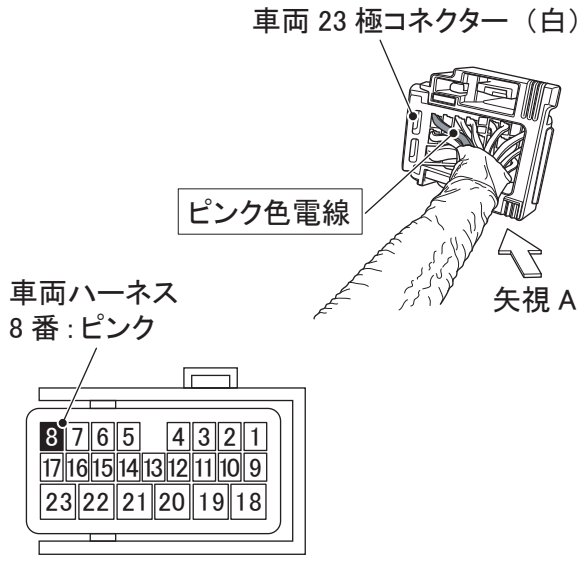


⑩エレタップ 裏面



シール剤が浸み出します





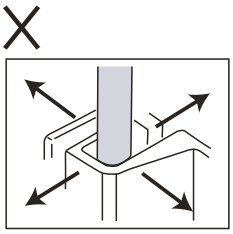
矢視 A ハーネス側から見て

(2) 左図を参考に③電源ハーネスの赤色の電線を先端から約 10 ㎜の位置で持ちます。

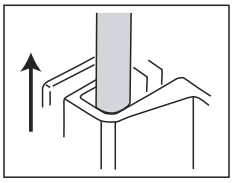
(3)⑩エレタップのポケット部に③電源ハーネスを挿入します。

⚠注意

電線挿入後は下図のような行為は行わないでください。



電線を左右前後に動かさないでください



挿入した電線は抜かないでください

(4) ポケットに挿入した③電源ハーネスの電線が抜けないように、 ポケット上部を押さえます。

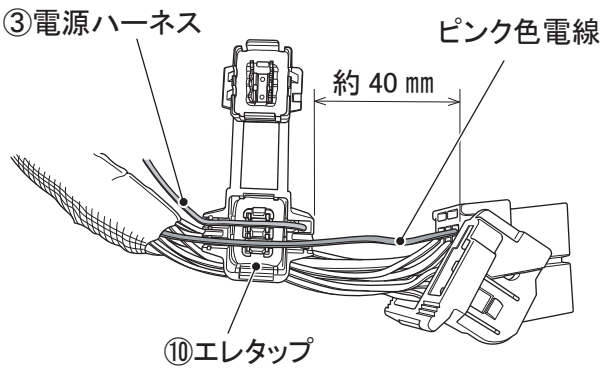
(5)③電源ハーネスを左図のように折り曲げて⑩エレタップの電線仮保持部に嵌めてください。

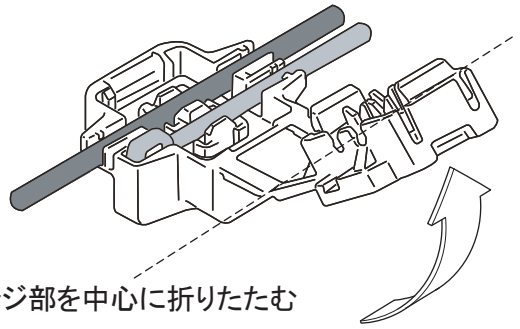
アドバイス

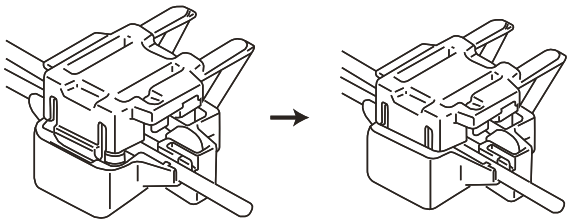
電線仮保持部へ電線が嵌め込まれると、「パチッ」とクリック音がなります。



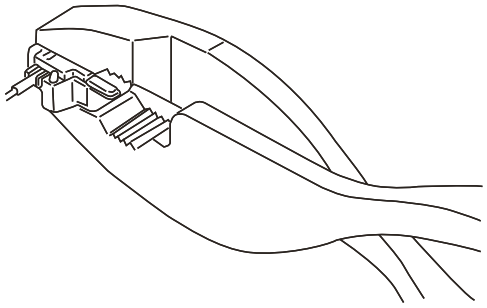
(6)③電源ハーネス (赤色線) を接続する、 車両コネクターのピンク色電線の位置を確認します。

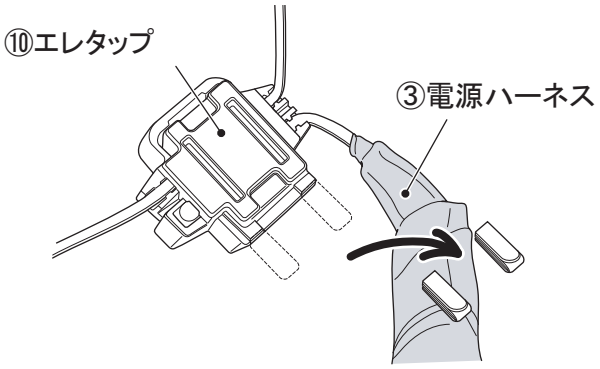






※ロックのツメが隠れる程度の高さまで
嵌めてください。



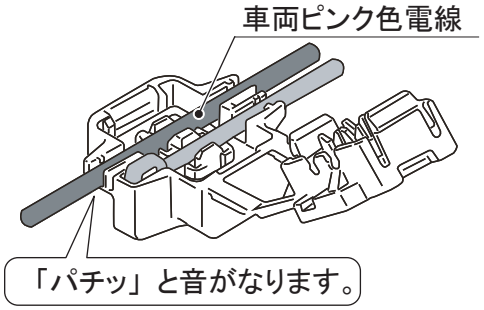


(7) 車両ピンク色電線を⑩エレタップの空いている電線仮保持部に押し込み、車両電線から⑩エレタップが外れないようにします。

(8) 仮保持した⑩エレタップを、車両コネクターから、約 40 mmの位置に合わせます。

アドバイス

電線仮保持部へ電線が嵌め込まれると、「パチッ」とクリック音がなります。

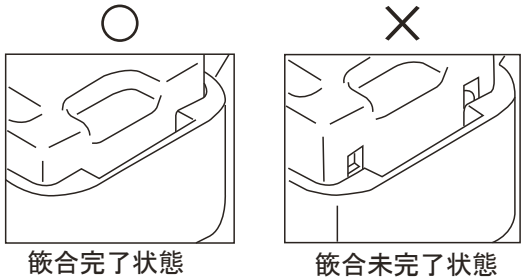


(9)⑩エレタップが (8) で合わせた位置からズレないように、注意して、ヒンジ部を中心に⑩エレタップを折りたたみます。

(10) 電線が電線仮保持部から脱落していない事を確認し、はめ合わせた⑩エレタップをプライヤーの広口で挟み、本止めします。

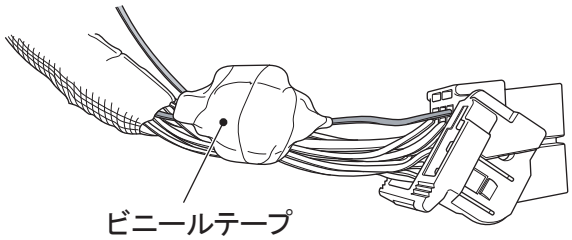
注意

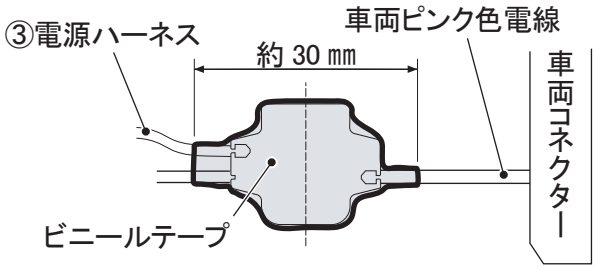
本止め後、ロック状態を確認してください。
穴が隠れている状態が、嵌合完了の状態です。



未嵌合状態の場合は、プライヤーで挟み直してください。

(11)⑩エレタップのヒンジ部分 (2 ヵ所) をニッパーで切断します。





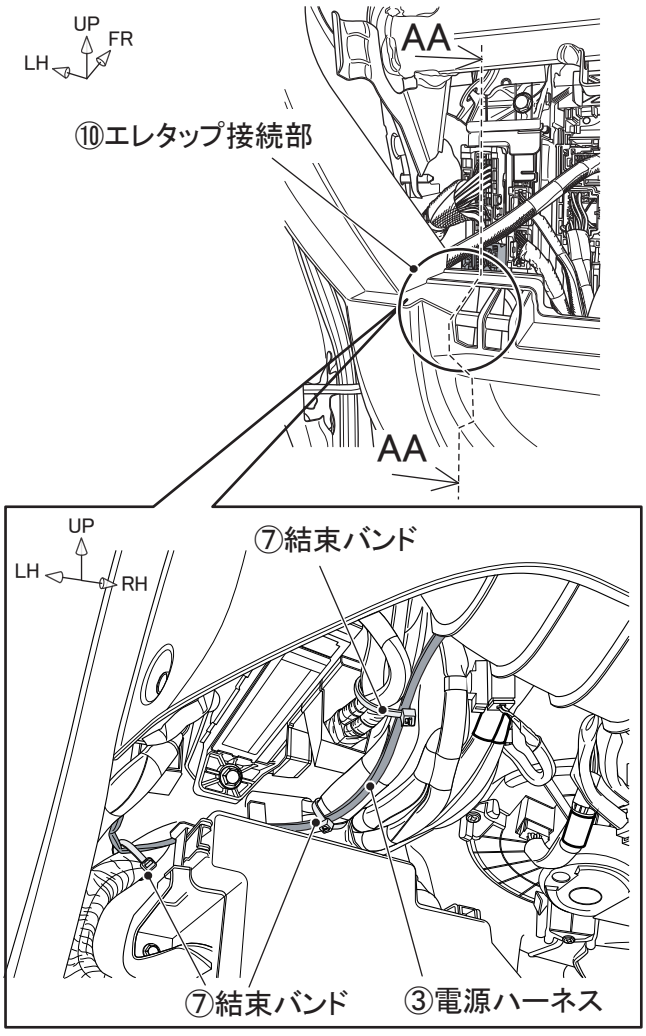
(12)⑩エレタップを中心に約 30 mmの範囲に
ビニールテープを巻き付けます。

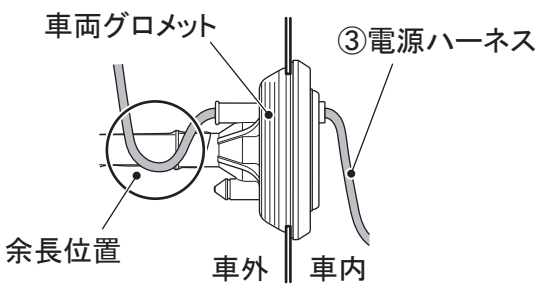
(13) 車両コネクターを復元します。

⚠注意

車両コネクターを復元する際は、コネクターを
ロックするレバーを上げて、確実にロック
されている事を確認してください。

6.③電源ハーネスの固定

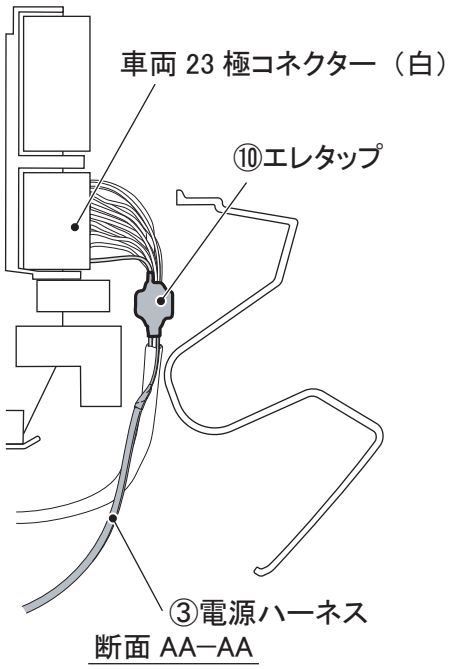




(1) 左図を参考に⑦結束バンド 3 本を使用して
③電源ハーネスを車両ハーネスに仮固定します。

⚠注意

③電源ハーネスを仮固定する際は、5. で接続
した⑩エレタップの位置が、グローブボックス
嵌合部のリブと干渉なきよう、下記断面図の
位置になる様に仮固定します 。



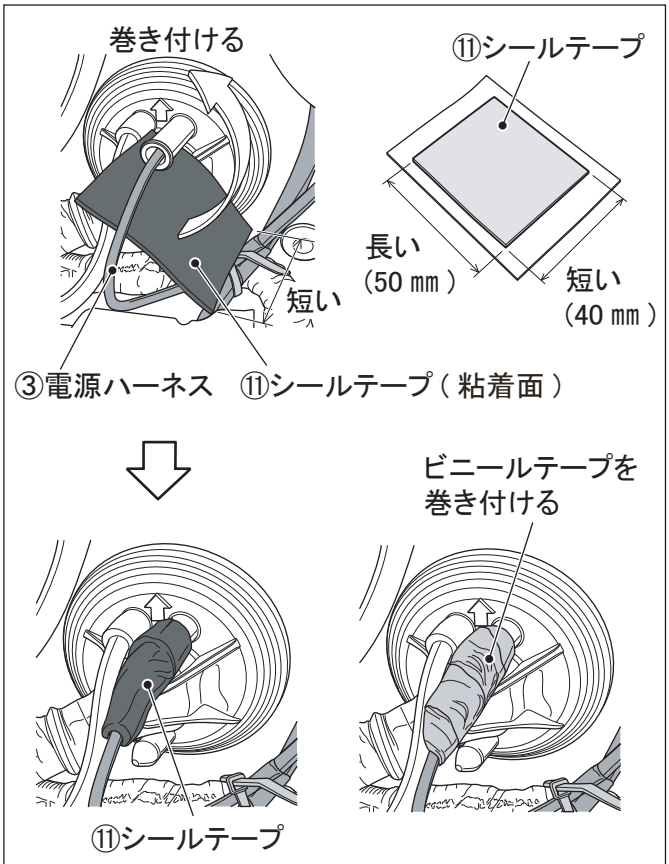
断面 AA−AA

(2)③電源ハーネスの余長を調整し、⑦結束バンドを
本締め後、⑦結束バンドの余長をカットします。

アドバイス

③電源ハーネスの余長は、車両グロメットより
車外側に寄せて調整してください。

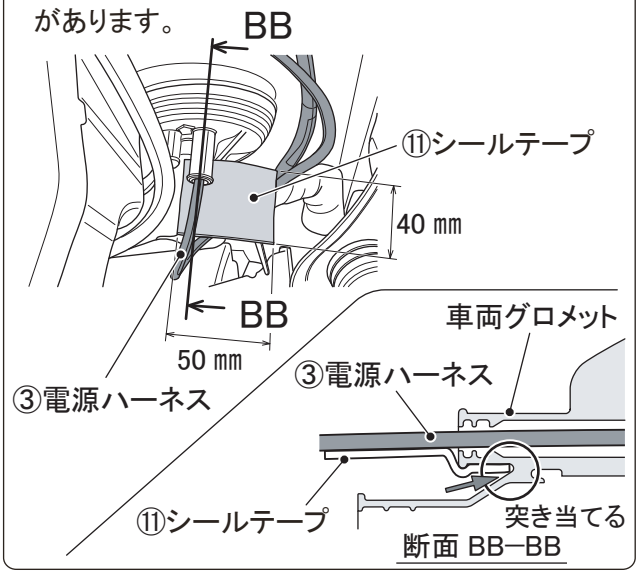
7. グロメット部の防水処理



(1) 左図を参考に車両グロメットの③電源ハーネス貫通部分に、⑪シールテープを巻き付けて防水処理をします。

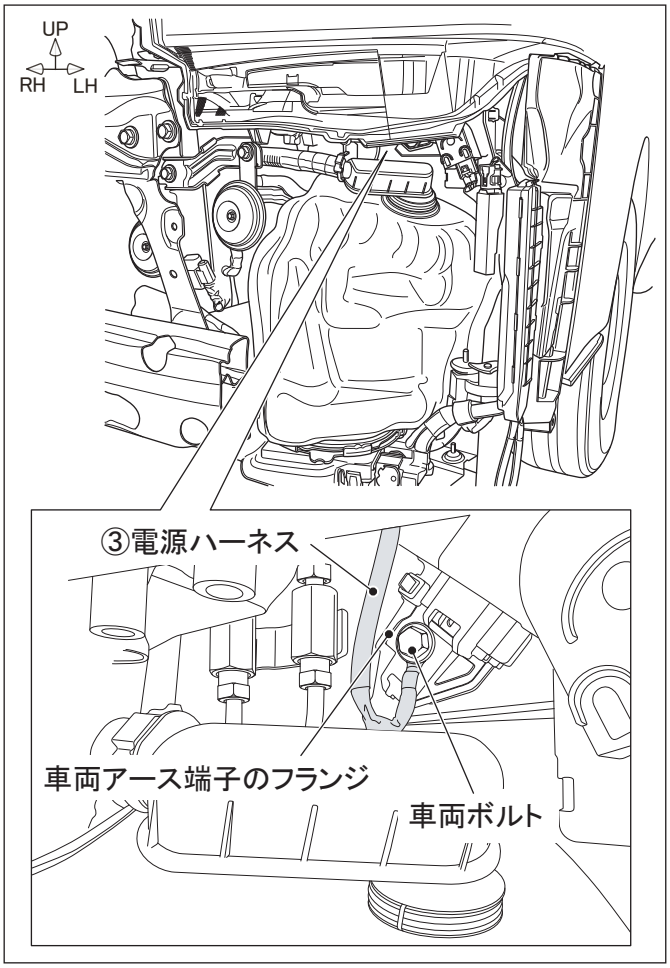
注意

⑪シールテープは、 車両グロメットに突き当たるまで、しっかり差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、 防水性低下のおそれがあります。



(2)⑪シールテープの上にビニールテープを巻き付けます。

8.③電源ハーネスの車外側の固定



(1) 車両ヘッドランプの裏側にあるアース端子固定ボルト (M6) を取り外します。

(2)③電源ハーネスの丸型端子を、 (1) で取り外した車両ボルト (M6) を使用して、 車両アース端子と共締めしてください。

注意

ボルトの締め付けは、 車両修理書に従い規定のトルクで行ってください。
締め付けトルク : 8.5N・m

注意

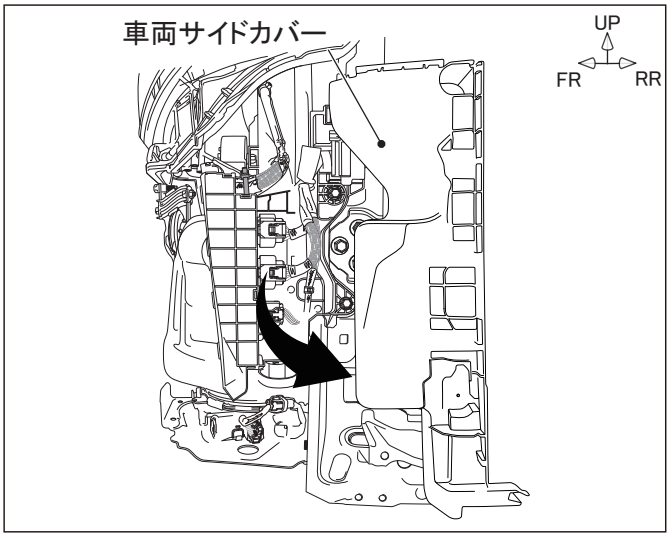
- 車両ボルトを固定する際、 丸型端子の収縮チューブが車両ボルトのフランジに噛み込まれないように注意してください 。
- 車両アース端子のフランジに③電源ハーネスが乗り上げないように注意してください。

アドバイス

ヘッドランプを取り外し③電源ハーネスの配策作業を行うと作業効率が向上します。

アドバイス

ヘッドランプの取り外し作業を行った場合は、車両修理書に従い復元作業を行ってください。



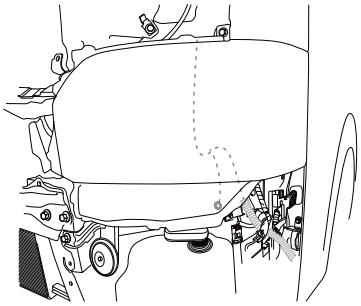
(3) 左図を参考に、 車両サイドカバーを車両修理書に従い取り外します。

⚠注意

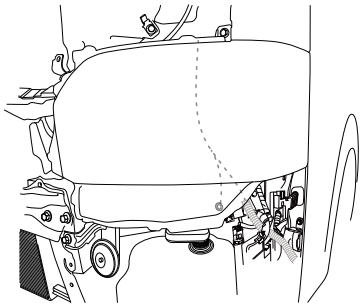
・取り外した車両部品は復元しますので、キズや破損させないよう大切に保管してください。

〈図Ⅰ〉

・下図を参考に 6.（1）で固定した箇所から図Ⅱにて固定する③電源ハーネスまでが弛まないようにしてください。

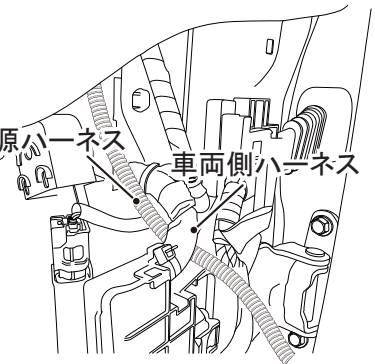


＜NG 例＞

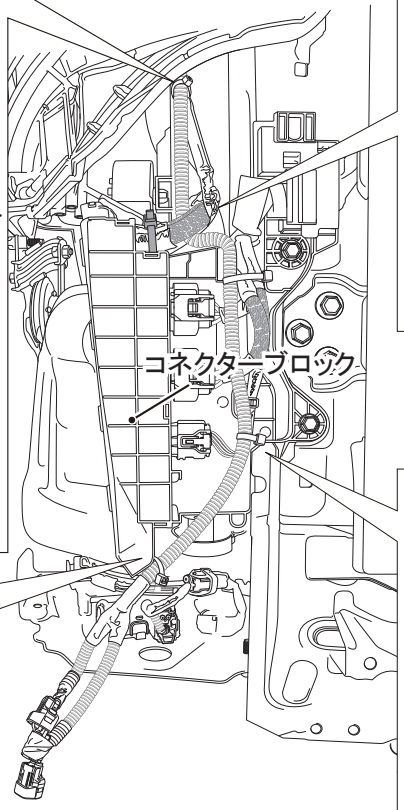


＜OK 例＞

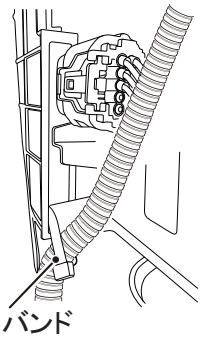
〈図Ⅱ〉



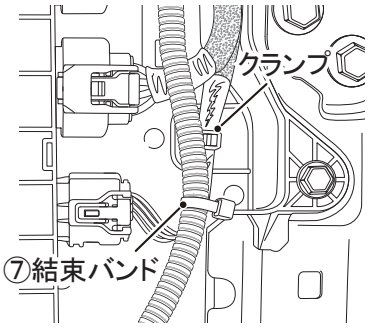
③電源ハーネスは車両側ハーネスの下を通し配索してください。



〈図Ⅲ〉



〈図Ⅳ〉

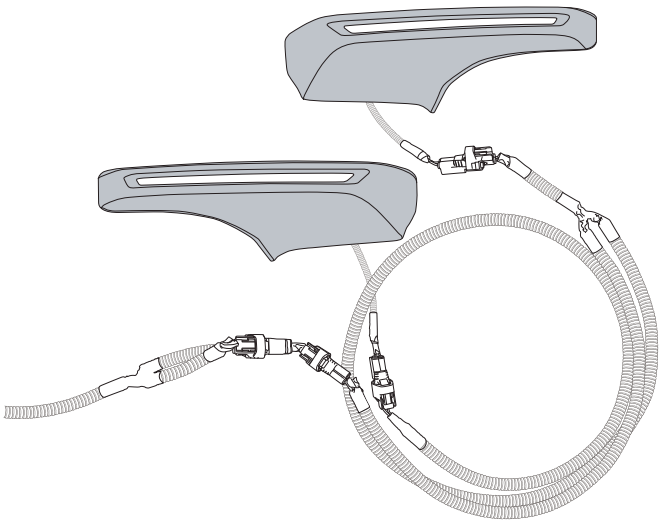


(4) 上図を参考に⑦結束バンドを使用して、③電源ハーネスを車両側ハーネスへ固定してください。

(5) ③電源ハーネスの余長を調整して、⑦結束バンドの余長分をカットしてください。

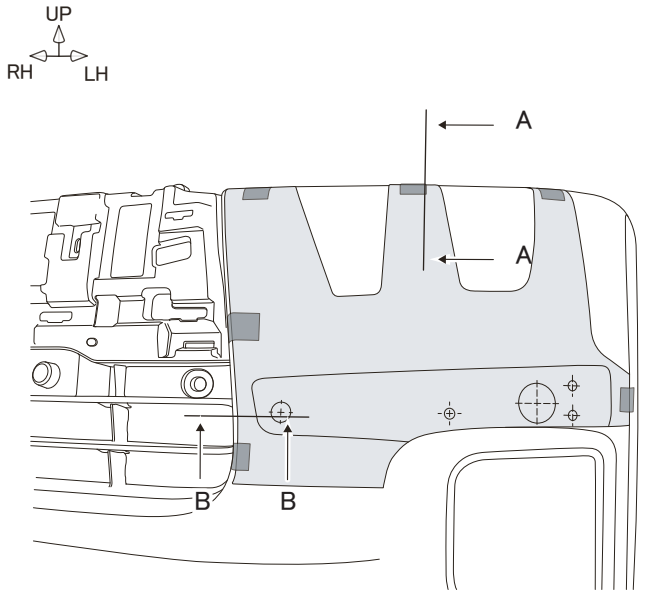
(6) (3) で取り外した車両サイドカバーを復元してください。

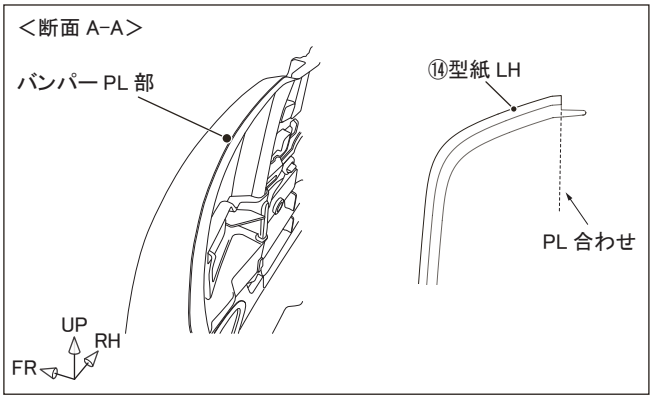
点灯確認　③電源ハーネスが正しく接続されたことを確認します。

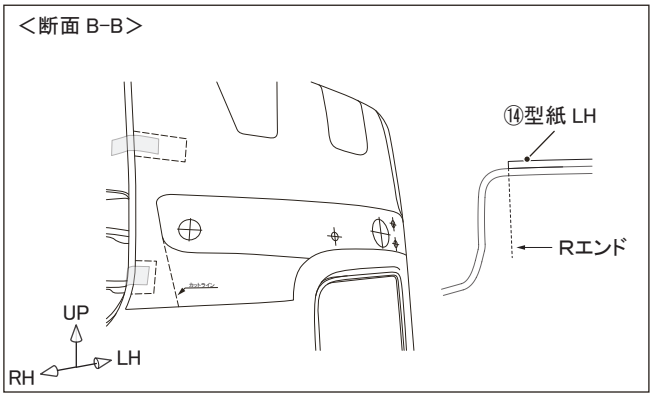


〔1〕③電源ハーネスと④バンパー側ハーネスを
26 ページの回路図を参考に接続してください。
〔2〕④バンパー側ハーネスと①、②シグネチャー
イルミ RH、 LH ハーネスを 26 ページの回路図を
参考に接続してください。
〔3〕バッテリーのマイナス端子を接続してください。
〔4〕イグニッション ON の状態にして
①、②シグネチャーイルミ RH、 LH が点灯する
ことを確認してください。
〔5〕バッテリーのマイナス端子を外してください。
〔6〕①、②シグネチャーイルミ RH、 LH と
④バンパー側ハーネスを取り外します。

9. フロントバンパーの穴あけ　※図は LH を示しており、 RH も同様に作業を行ってください。

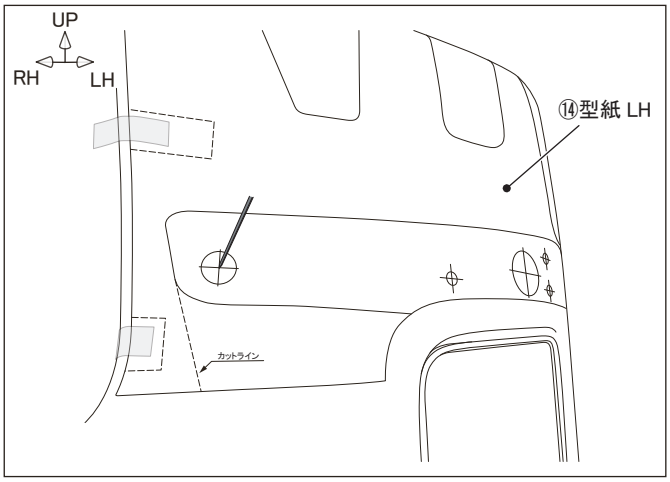




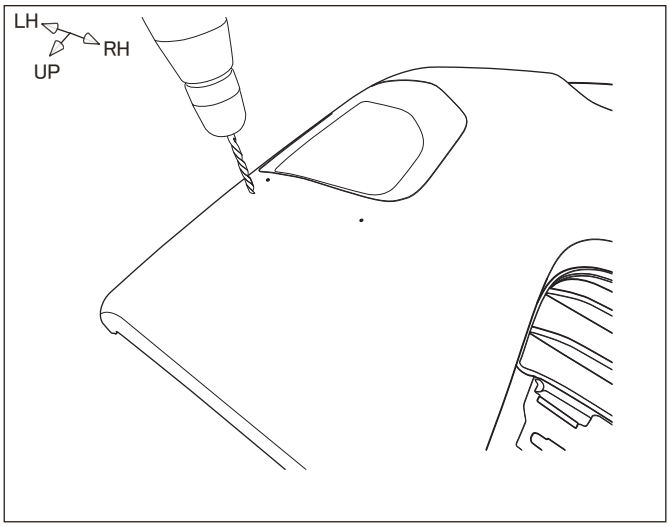


(1) ⑭型紙 LH を外形線に沿って切り取ってください。

(2) (1) でカットした⑭型紙 LH を上図を参考に車両バンパーへ貼付け固定してください。

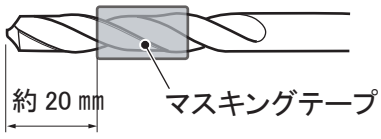


(3) ⑭型紙 LH に記載されている穴あけ位置（4 箇所）の中心にキリなどで印を付けます。
(4) ⑭型紙 LH を剥がします。

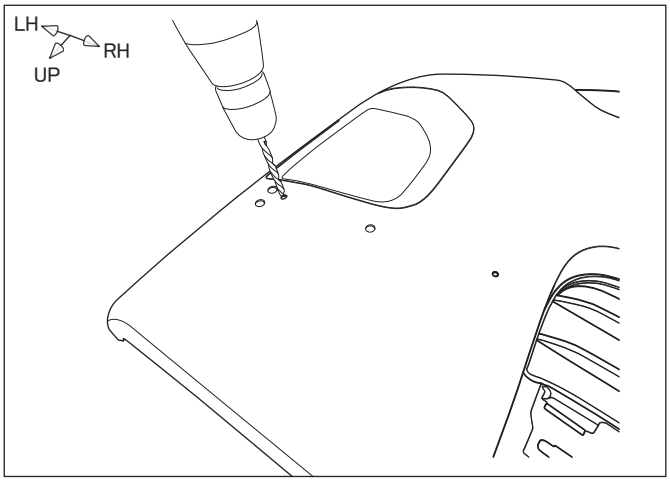


(5) ⑭型紙 LH を確認しながら、Φ8.0 の穴位置 3 箇所にΦ3.0→Φ6.0→Φ8.0 の順に穴あけを行ってください。

アドバイス

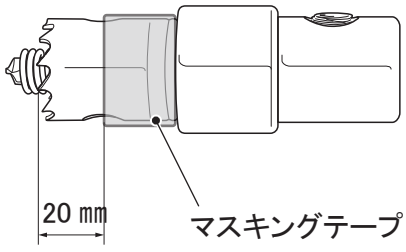


Φ3.0、Φ6.0、Φ8.0 の 3 本それぞれの先端から 20mm の位置にマスキングテープを巻き付けストッパーを作ってください。

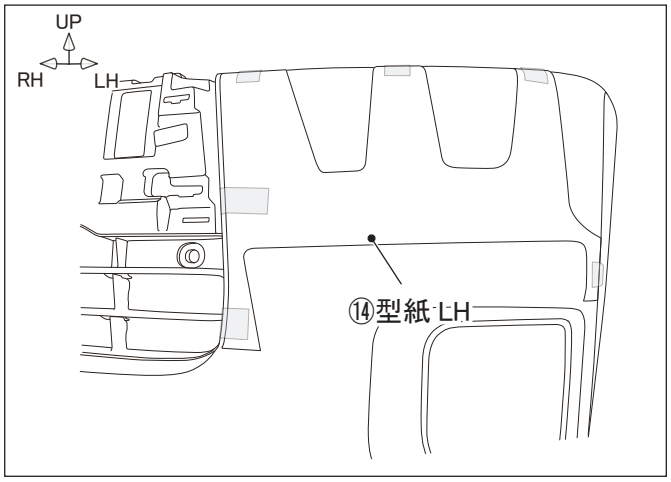


(6) ⑭型紙 LH を確認しながら、Φ14.0、Φ30.0 の穴位置それぞれにΦ3.0 の下穴をあけてください。その後、Φ14.0、Φ30.0 のホールソーを使用し、穴あけを行ってください。

アドバイス

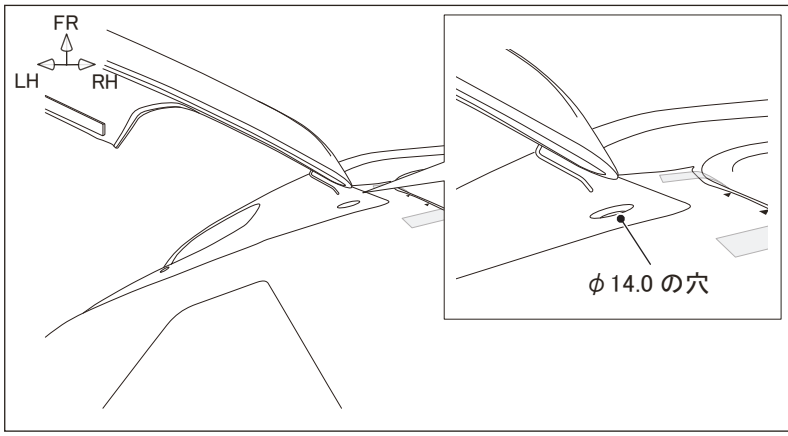


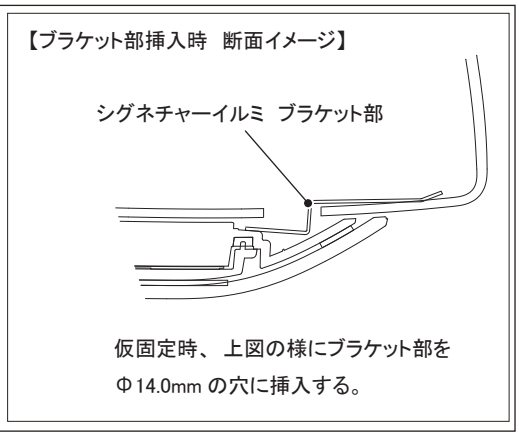
Φ14.0、Φ30.0 の 2 本それぞれの先端から 20mm の位置にマスキングテープを巻き付けストッパーを作ってください。



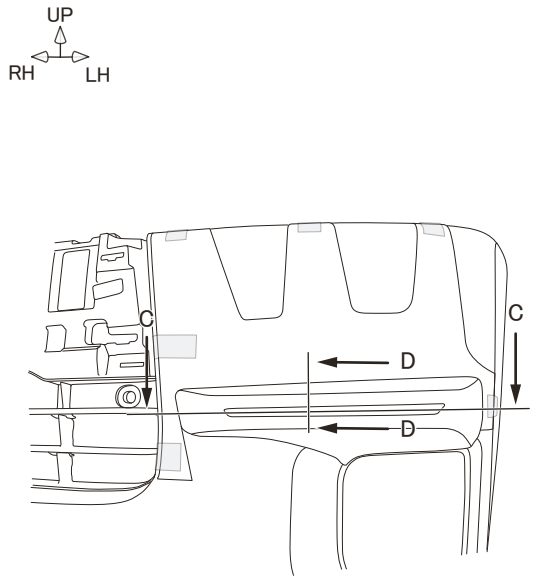
(7) 左図を参考に⑭型紙 LH に印刷されているシグネチャーイルミの外形線に合わせカットしてください。

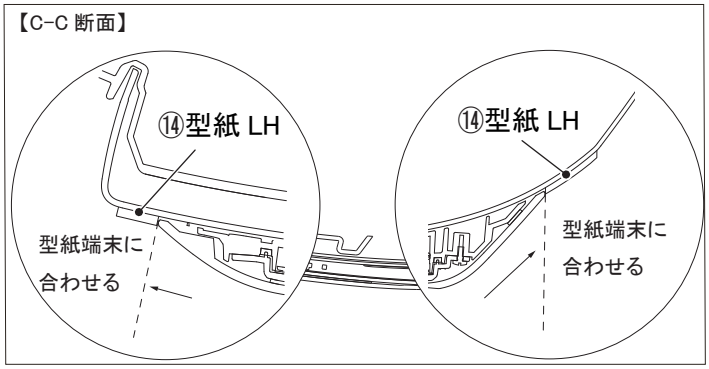
(8) (7) でカットした⑭型紙 LH を (2) の作業同様に車両バンパーへ貼付け固定してください。

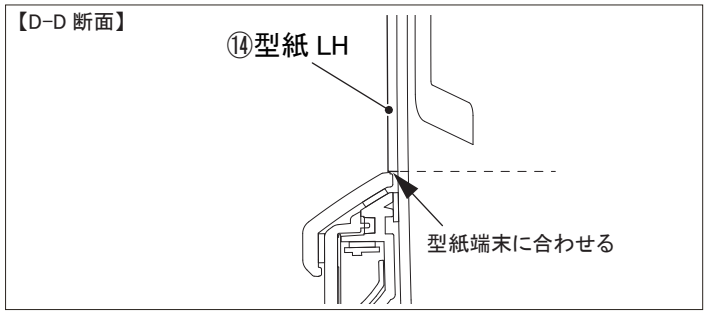




(9) 上図を参考に、(6) で作業したΦ14.0mm の穴に②シグネチャーイルミ LH のブラケット部、Φ30.0mm の穴にハーネス部をそれぞれ挿入してください。



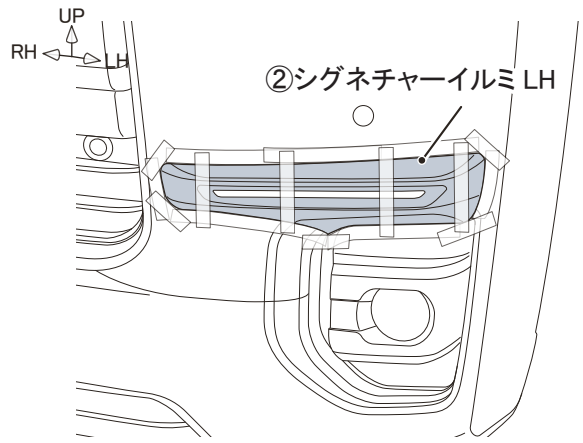


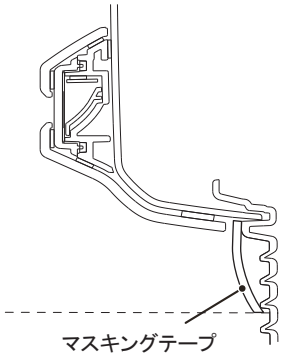


(10)上図を参考に、(7) でカットした⑭型紙 LH のシグネチャーイルミ外形線と②シグネチャーイルミ外周ラインが合うように製品をセットし、マスキングテープ等で仮固定してください。

(11)(8) で固定した⑭型紙 LH を剥がしてください。

10. シグネチャーイルミ本体の固定　※図は LH を示しており、 RH も同様に作業を行ってください。



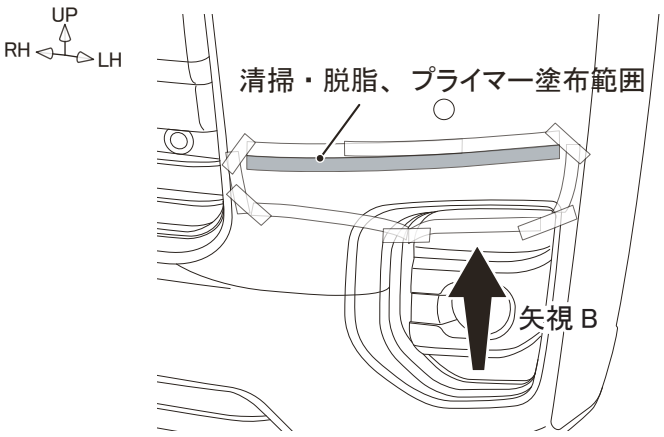


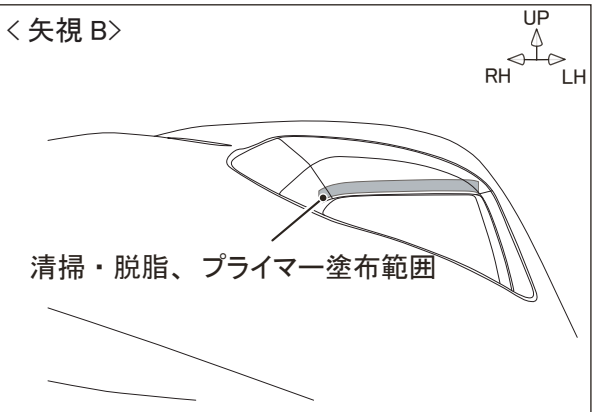
フォグベゼルの 3 凸目までマスキングテープで保護してください。

(1)　5.（10）で仮固定した②シグネチャーイルミ LH の外周に沿ってマスキングテープを貼付けてください。
その際、 5.（10）で貼りつけたマスキングテープが一番上になるように貼り直してください。

⚠注意

外周に沿って貼付けるマスキングテープは、 プライマーのはみ出し防止とシグネチャーイルミの固定位置決めに使用します。 マスキングテープを貼付ける際は、 製品の外周に沿って正確に貼付けてください。





(2)　5.（10）で仮固定した②シグネチャーイルミ LH を車両バンパーから取り外してください。

(3)　上図、 色分けエリアを IPA（イソプロピルアルコール） 等を使用し、 清掃・脱脂を行ってください。

⚠注意

・脱脂作業を行う際は、 必ず脱脂作業要領書をお読みください。
脱脂後は十分に乾燥させてください。
・脱脂を行う際は、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油分が残り、 両面テープが剥がれる原因になります。

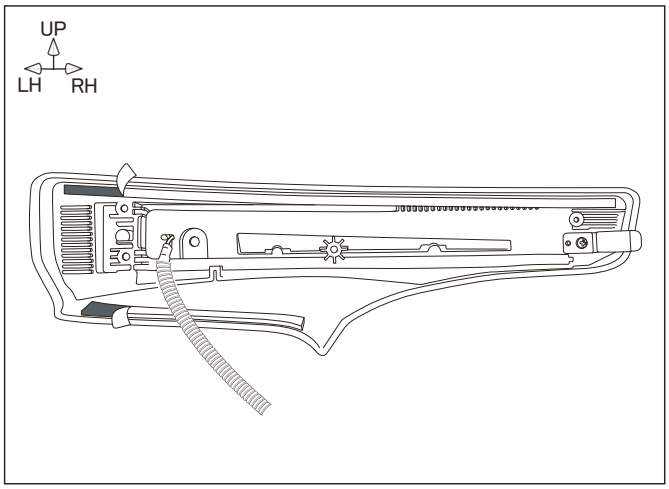
(4)　上図を参考に⑫パックプライマーセット （N-210NT) を塗布してください。

アドバイス

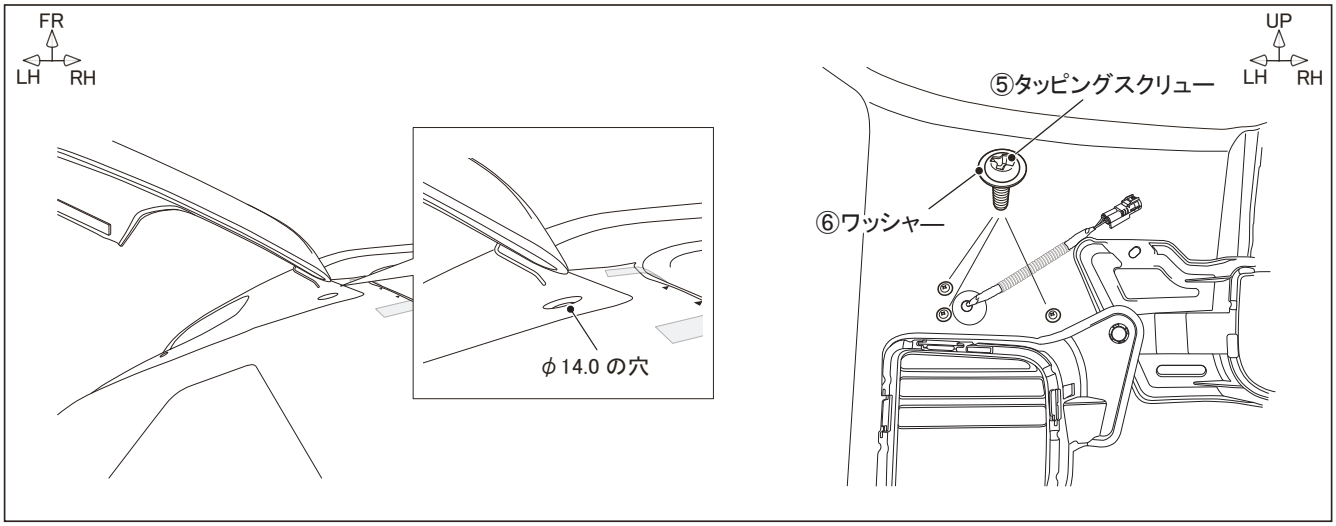
・素地バンパーに取付ける場合は、 別途 3M PAC プライマー K-500 を準備してください。

⚠注意

・プライマー開封前に、 必ずプライマー取扱書をお読みになってください。
・プライマーを塗布する際は、 プライマー塗布範囲からはみ出さないように注意してください。
・プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、
直ちにイソプロピルアルコール （IPA) で拭き取ってください。 付着してしまいますと車両部品が変色するおそれがあります。

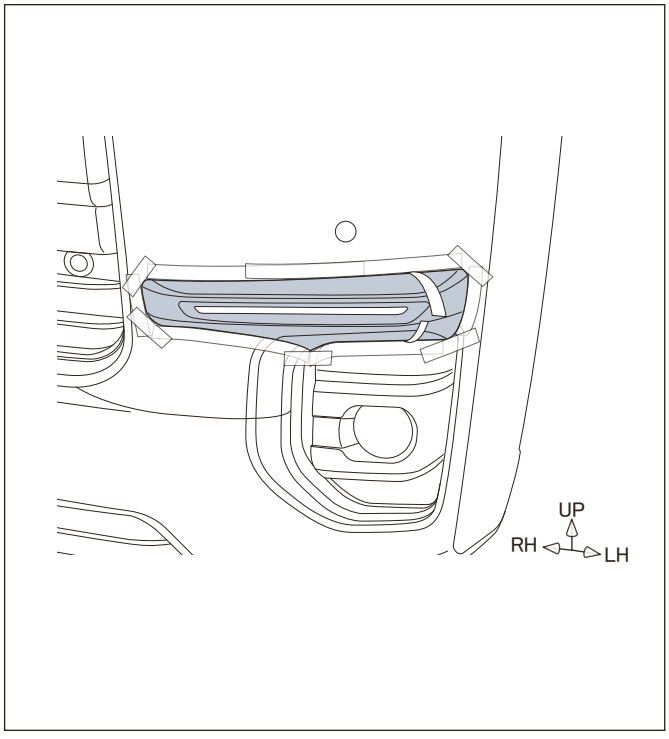


(5) 左図を参考に②シグネチャーイルミ LH 裏面の離型紙の端末 (2 箇所) を 30～50 ㎜程度めくり、表側へ折り曲げマスキングテープで固定します。



(6) 上図を参考に 3.(6) で穴あけしたφ14.0 の穴に②シグネチャーイルミ LH のブラケット部を挿入し、φ30.0 の穴にハーネス部を挿入してください。

(7)(1) で製品外周に合わせて貼り付けたマスキングテープを目印に②シグネチャーイルミ LH を設置し、ボス部 3 箇所を⑤タッピングスクリュー、⑥ワッシャーで車両フロントバンパーへ仮固定してください。



(8)②シグネチャーイルミ LH の両面テープ部 (2 箇所) の離型紙をめくりながら 49N 以上の力で圧着してください。

アドバイス

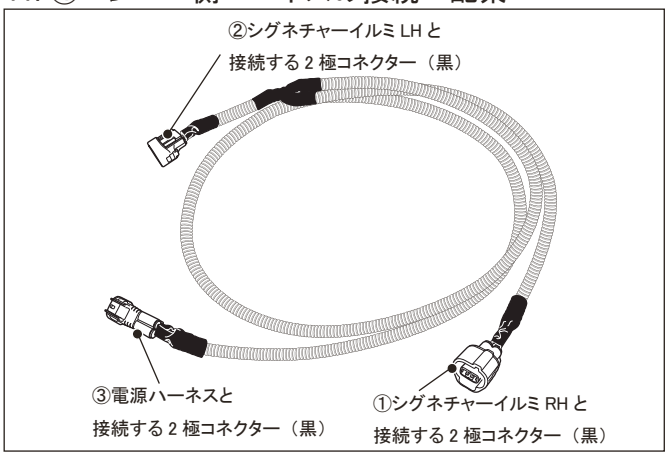
バンパーの裏側から②シグネチャーイルミ LH を手ではさみ込むようにしながら圧着してください。

(9) 仮固定した②シグネチャーイルミ LH の取り付け位置を調整し、⑤タッピングスクリューにて固定してください。

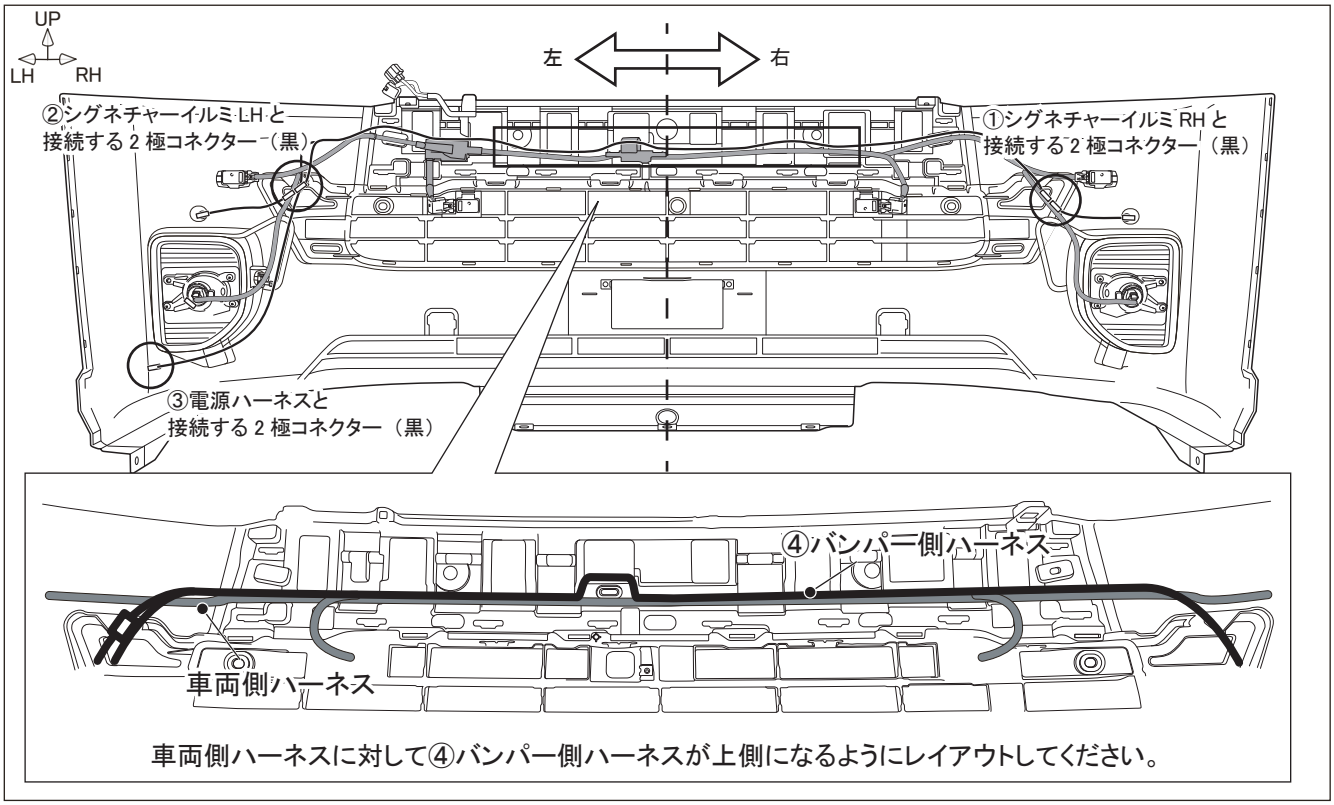
⚠注意

⑤タッピングスクリューの締め付け、 緩めを繰り返すと、 本体ボスのネジ山がつぶれ取付強度が不足します。

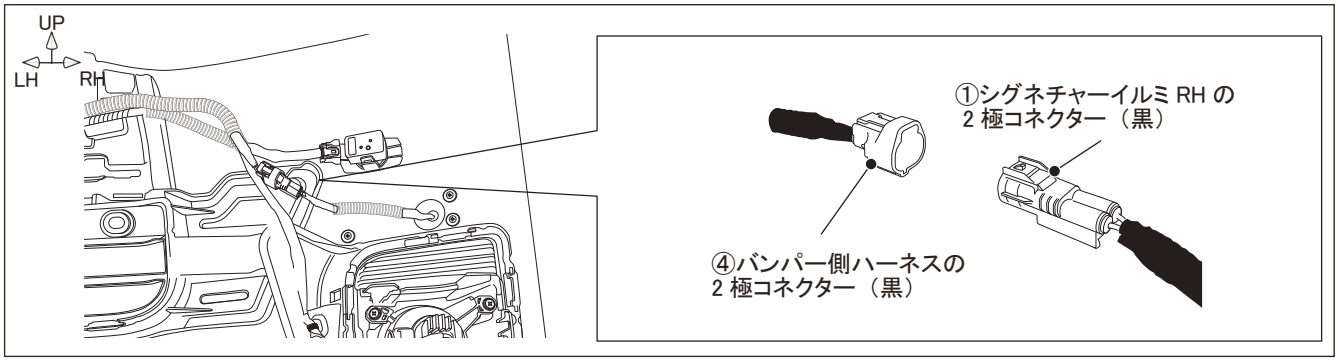
11. ④バンパー側ハーネスの接続・配索



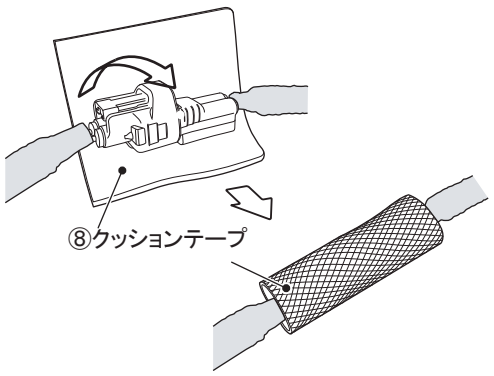
(1) ④バンパー側ハーネスのコネクター形状を確認してください。



(2) 上図を参考に、コネクターの位置を間違えないように、④バンパー側ハーネスを車両ハーネスに沿ってレイアウトしてください。

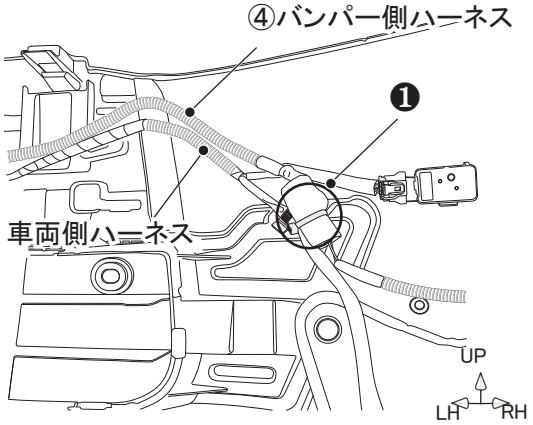


(3) 上図を参考に、①シグネチャーイルミ RH のコネクターを④バンパー側ハーネスのコネクターへ接続してください。

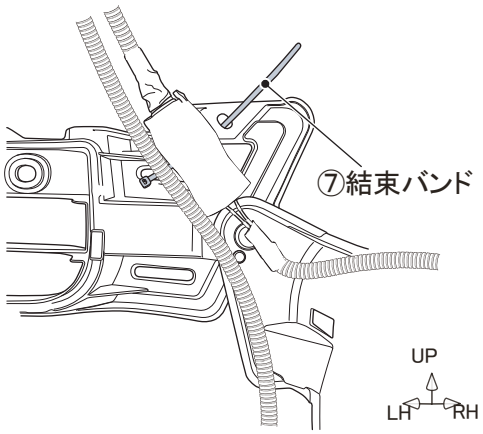


(4)(3) で接続したコネクター部に⑧クッションテープを巻いて保護します。

<フォグランプ装着車両>



<フォグランプ未装着車両>

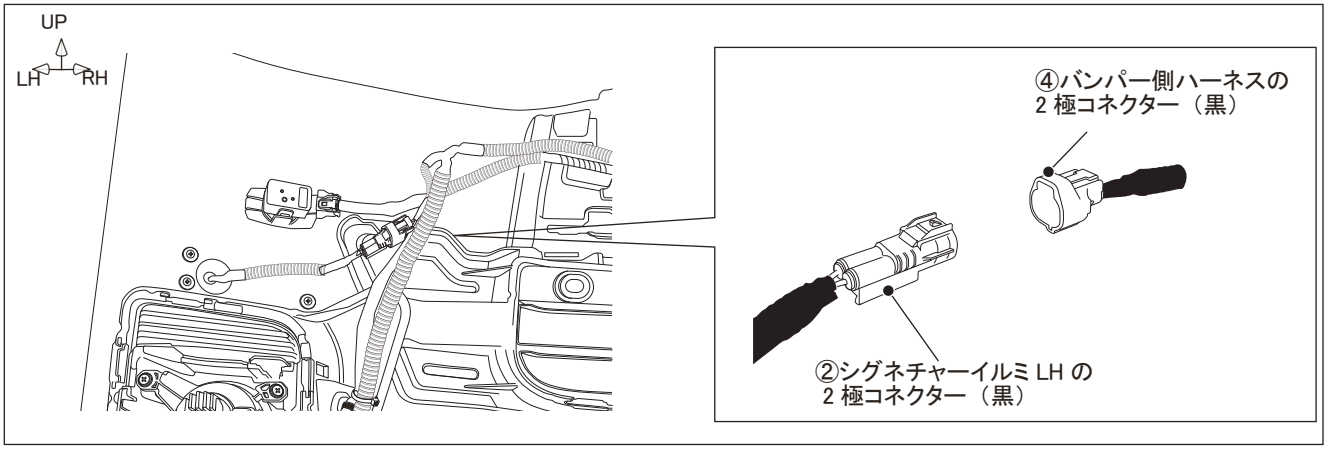


(5) 左図を参考に、(4) にてクッションテープ保護したコネクター部を⑦結束バンドを使用し、車両側ハーネスへ固定します。
その際、⑦結束バンドの余長部をニッパー等を使用しカットしてください。 また、 上記作業は車両仕様に合わせ作業を行ってください。

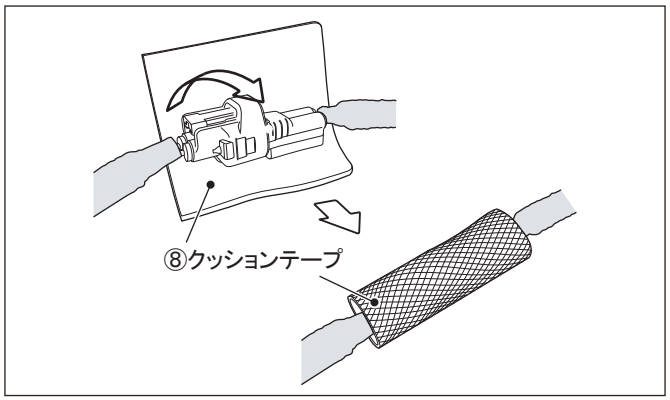
<フォグランプ装着車両>
左図を参考に、 車両側ハーネスへ⑦結束バンドを使用し、 固定してください。 (結束位置❶)

<フォグランプ未装着車両>
左図を参考にフロントバンパーグリル裏側の楕円型の穴に⑦結束バンドを通し、 固定してください。
(結束位置❶)

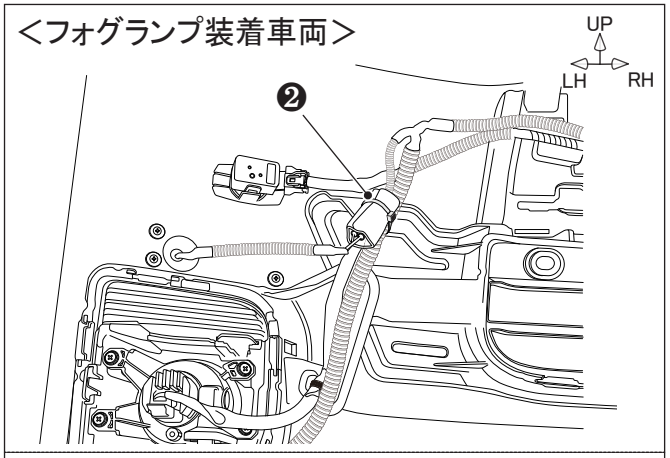
⚠注意
結束位置❶を⑦結束バンドにて固定する際は①シグネチャーイルミ RH、④バンパー側ハーネスのコネクターを嵌合させた箇所で行ってください。

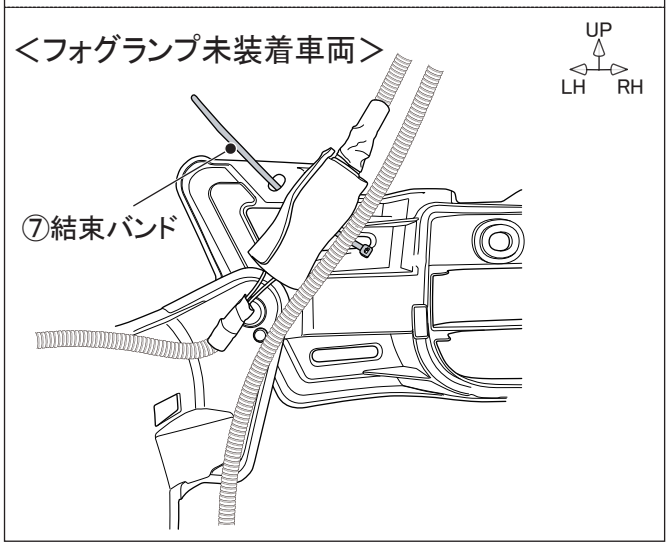


(6) 左図を参考に、②シグネチャーイルミ LH のコネクターを④バンパー側ハーネスのコネクターへ接続してください。



(7)(6) で接続したコネクター部に⑧クッションテープを巻いて保護します。





(8) 左図を参考に、(6) にてクッションテープ保護したコネクター部を⑦結束バンドを使用し、④バンパー側ハーネス、 車両側ハーネスを共に束ね固定します。その際、⑦結束バンドの余長部をニッパー等を使用しカットしてください。また、上記作業は車両仕様に合わせ作業を行ってください。

＜フォグランプ装着車両＞

左図を参考に、 車両側ハーネスへ⑦結束バンドを使用し、 固定してください。(結束位置❷)

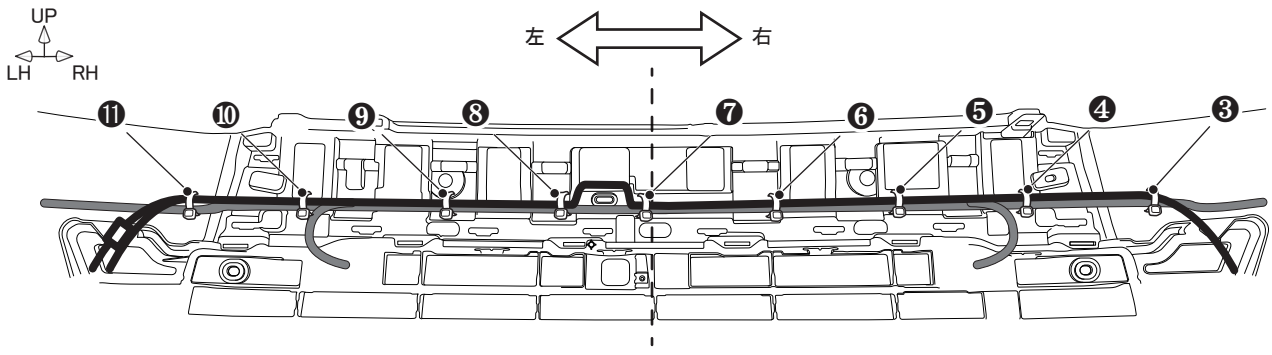
＜フォグランプ未装着車両＞

左図を参考にフロントバンパーグリル裏側の楕円型の穴に⑦結束バンドを通し、 固定してください。

(結束位置❷)

⚠注意

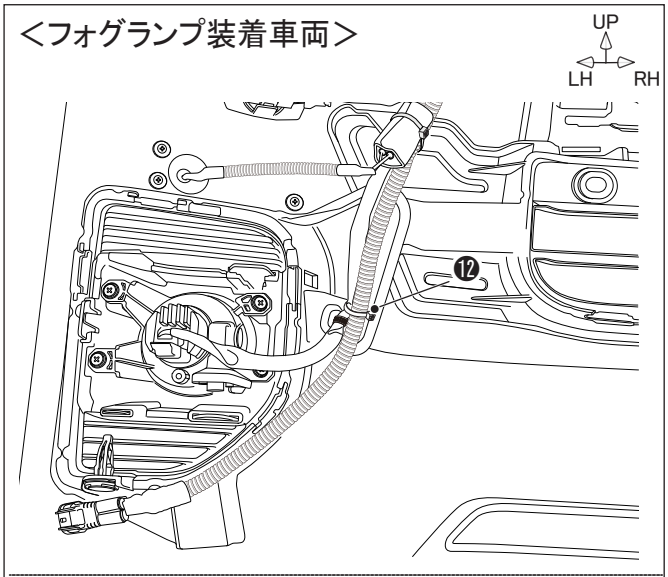
結束位置❷を⑦結束バンドにて固定する際は②シグネチャーイルミ LH、④バンパー側ハーネスのコネクターを嵌合させた箇所で行ってください。



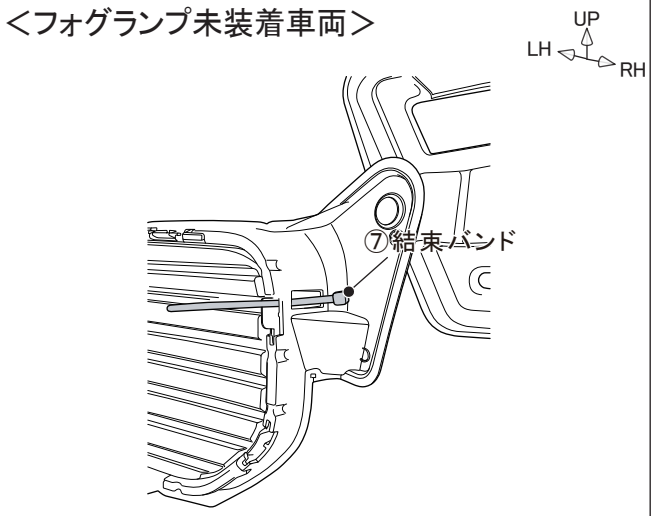
(9) 上図を参考に、④バンパー側ハーネスを車両側ハーネスへ⑦結束バンドにて、 車両ハーネスへ仮固定してください。 その際、⑦結束バンドの間隔は 150mm 程度にしてください。

(結束バンド位置❸、❹、❺、❻、❼、❽、❾、❿、⓫)

<フォグランプ装着車両>



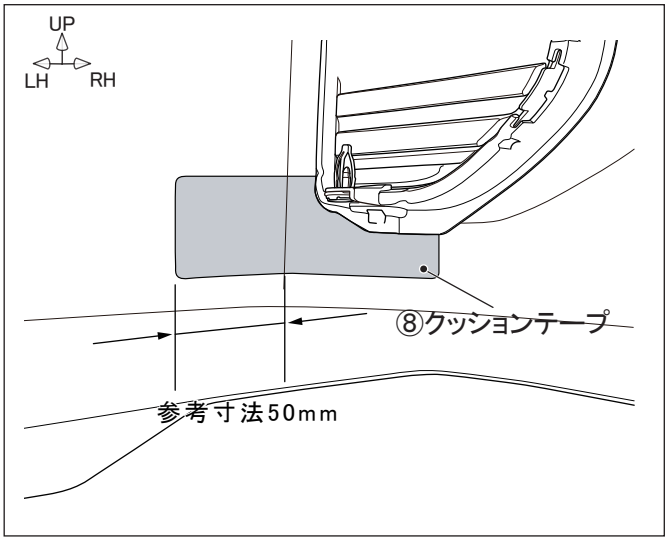
<フォグランプ未装着車両>



(10)車両の仕様に合わせ下記作業を行ってください。

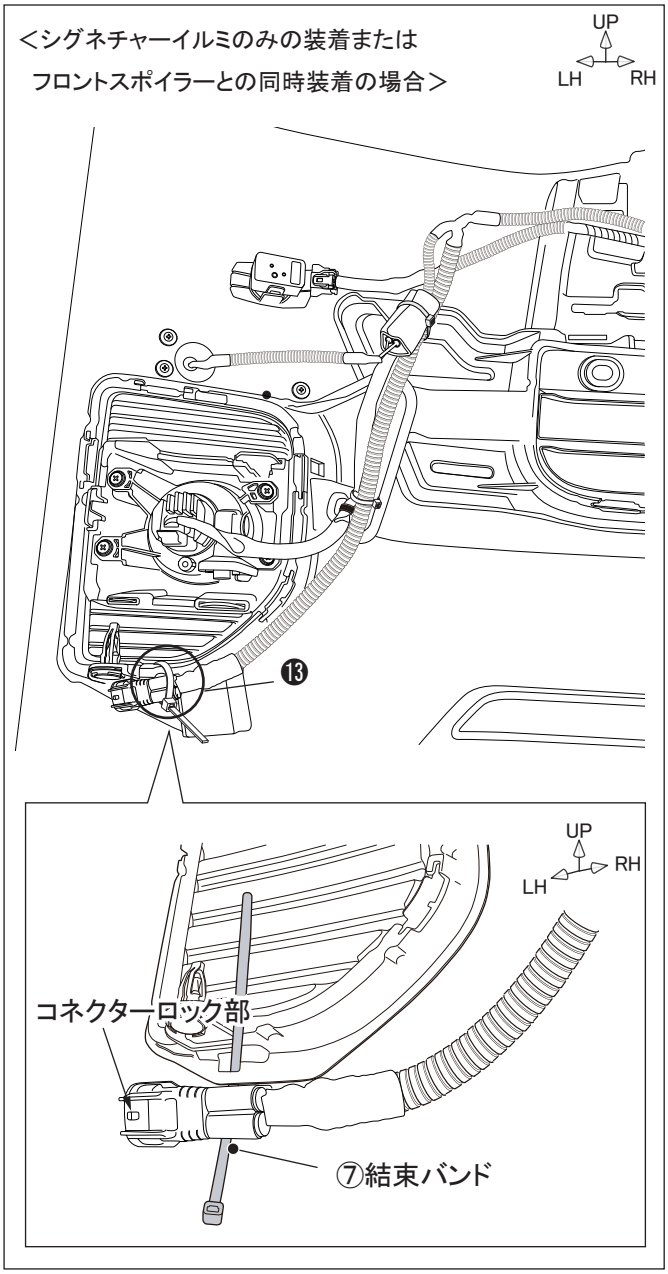
<フォグランプ装着車両>
左図を参考に④バンパー側ハーネス、 車両側ハーネスを⑦結束バンドを使用し、 仮固定してください。（結束位置⑫）

<フォグランプ未装着車両>
左図を参考にフロントバンパーグリル裏側の角穴に⑦結束バンドを通し、④バンパー側ハーネス車両側ハーネスを仮固定します。
（結束位置⑫）



(11)左図を参考に車両バンパーのキャラクターラインと⑧クッションテープ端末が 50mm程度になる位置で貼付けてください。

<シグネチャーイルミのみの装着または
フロントスポイラーとの同時装着の場合>



(12)左図を参考にフォグランプカバー下面にある角穴に
⑦結束バンドを通し④バンパー側ハーネスを
仮固定してください。(結束位置⓭)
その際、車両状態に合わせ作業を行ってください。

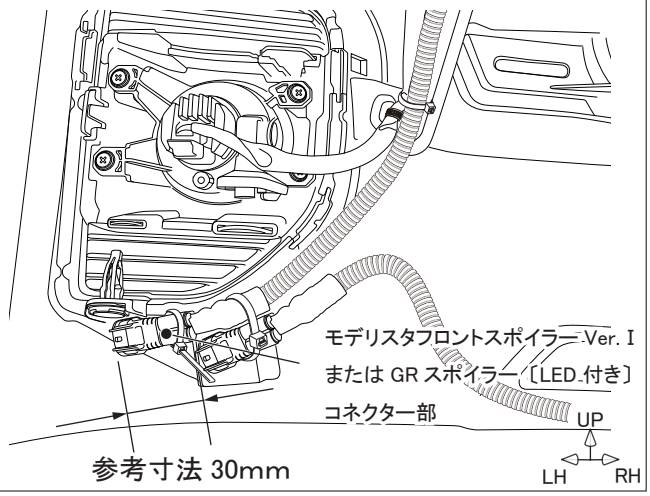
アドバイス

コネクターのロック方向を回せる程度に仮固定すると③電源ハーネスのコネクターと接続する際の作業性が向上します。

<シグネチャーイルミのみの装着または
フロントスポイラーとの同時装着の場合>

・左図を参考に④バンパー側ハーネスを仮固定してください。

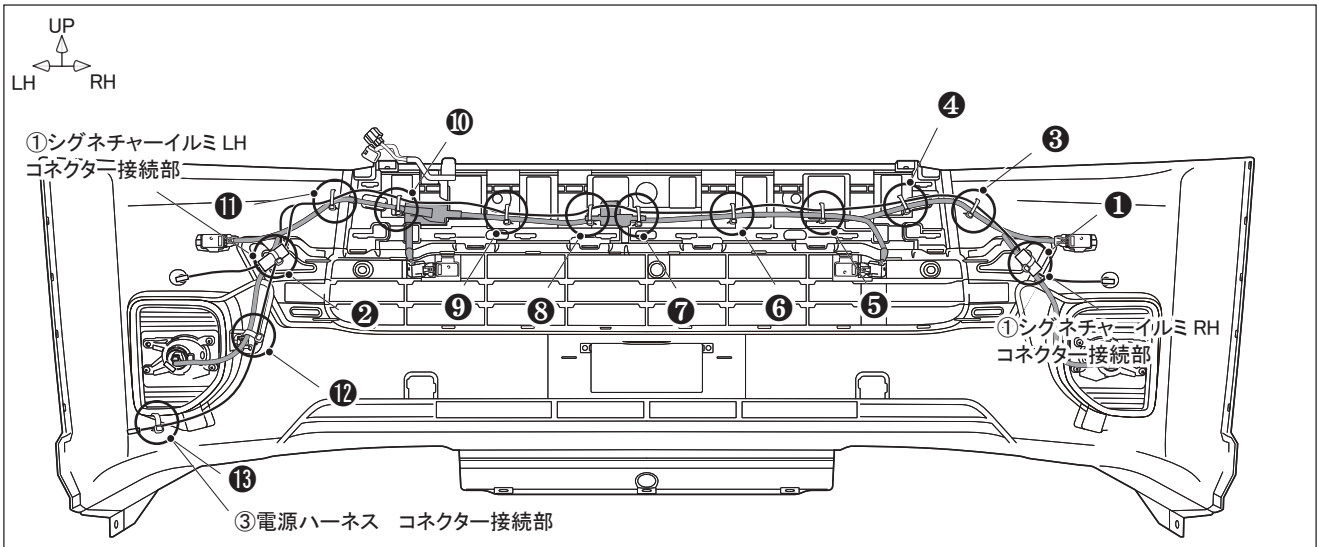
<モデリスタスポイラー Ver.1 または
GR スポイラー〔LED 付き〕が既に装着されている場合>



<モデリスタフロントスポイラー Ver. I または
GR スポイラー〔LED 付き〕が既に装着されている場合>

・左図を参考に
モデリスタフロントスポイラー Ver. I または
GR スポイラー〔LED 付き〕に使用している
ハーネスのコネクター部の先端から 30mm 程度
ズラした位置で仮固定してください。

12. ④バンパー側ハーネス、①、②シグネチャーイルミ RH、 LH ハーネスの固定



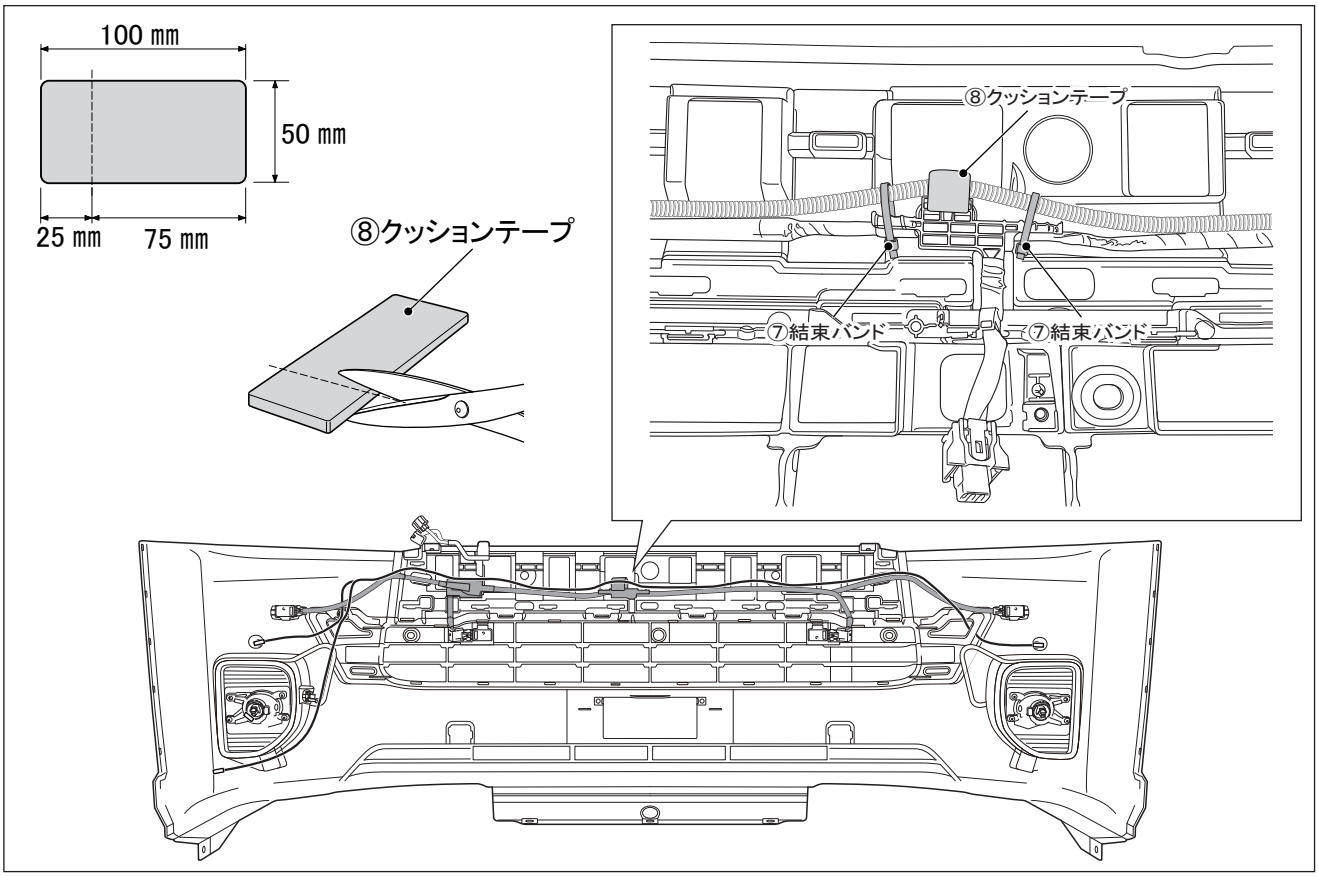
(1) 結束位置❸、⓫の間に④バンパー側ハーネスの余長を寄せて、 車両ハーネスに沿うように調整してください。

(2) 下記の順番で、④バンパー側ハーネスを固定している⑦結束バンドを本締めしてください。

〔1〕 車両バンパー中央部　　結束位置❸→❹→❺→❻→❼→❽→❾→⓾→⓫

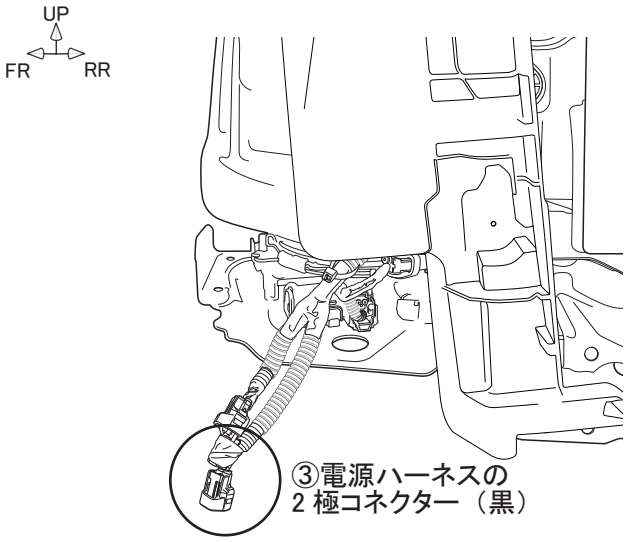
〔2〕 LH フォグランプカバー側面　　結束位置⓬

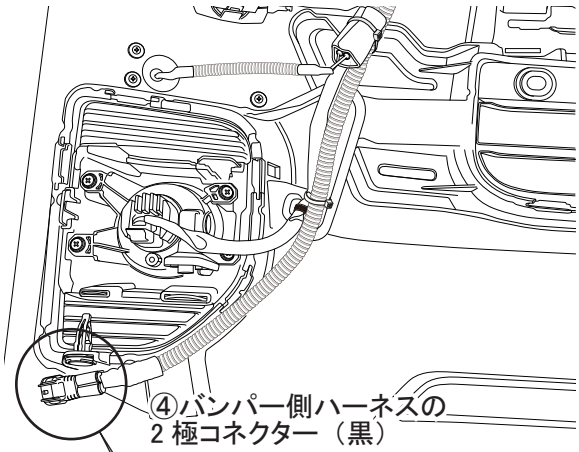
(3) ⑦結束バンドの余長分をカットしてください。



(4) 上図を参考に結束位置❼、❽の間に⑧クッションテープを 1/4 にカットし、 25mm×50mmサイズを貼り付けてください。

13. 車両の復元と③電源ハーネス、④バンパー側ハーネスのコネクター接続





(1) フロントバンパーを車両へ仮保持状態にし、③電源ハーネスのコネクターと、④バンパー側ハーネスのコネクターを接続します。

(2) ④バンパー側ハーネスを固定している⑦結束バンドを本締めしてください。

アドバイス

モデリスタフロントスポイラー Ver.1 または GR スポイラー（LED 付き）同時装着の場合は、
③電源ハーネスの予備コネクターに
④バンパー側ハーネスを接続してください。

(3) 車両修理書に従い、フロントバンパーを復元します。

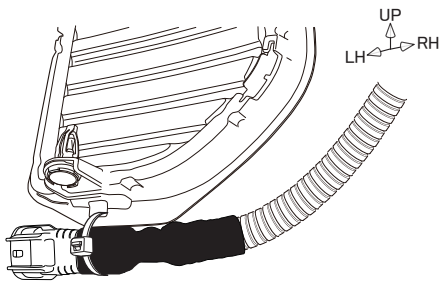
注意

フロントバンパーを復元する際は、車両や本製品のハーネス類の巻き込みに十分、注意してください。

(5) 車両修理書に従い、フロントグリル、ナンバープレート、サイドステップ、グローブボックスを復元します。

(6) バッテリーマイナス端子を接続します。

(7) イグニッションを ON の状態にしてランプの点灯確認を行います。



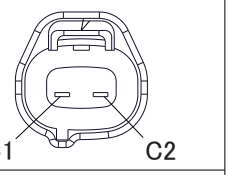
コネクターに巻かれているビニールテープ部を⑦結束バンドで固定し余長をカットする。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、ガタつき、 剥がれ等、 無いことを確認してください。
2. 車両及びシグネチャーイルミ周りに傷が付いていないことを確認してください。
   バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
   車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
   ※車両システムの初期化は、 GTS などのツールが必要な場合があります。

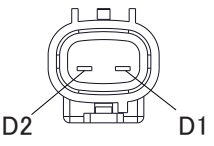
■ 回路図

Ⓒ 2 極コネクター（メス）（黒）



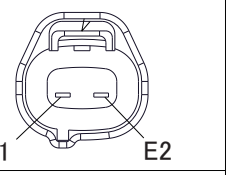
勘合面側視（ロック上側）	
C1	赤
C2	黒

Ⓓ 2 極コネクター（オス）（黒）



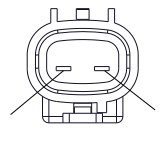
勘合面側視（ロック上側）	
D1	赤
D2	黒

Ⓔ 2 極コネクター（メス）（黒）

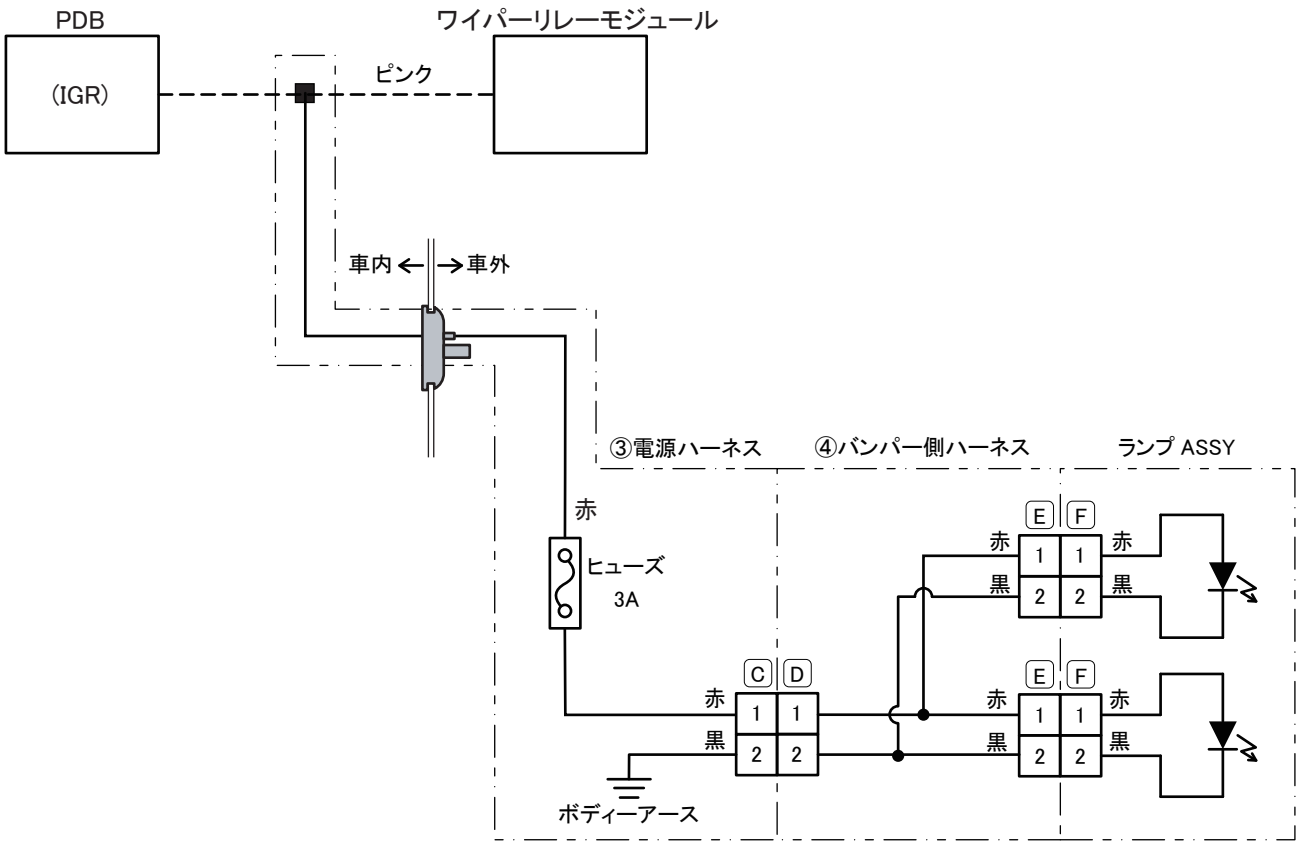


勘合面側視（ロック上側）	
E1	赤
E2	黒

Ⓕ 2 極コネクター（オス）（黒）F2



勘合面側視（ロック上側）	
F1	赤
F2	黒



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント
モデリスタ商品お問い合わせ窓口
TEL : 050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

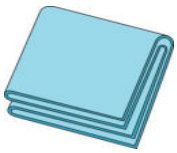
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

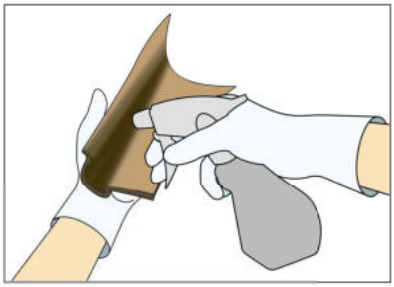

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

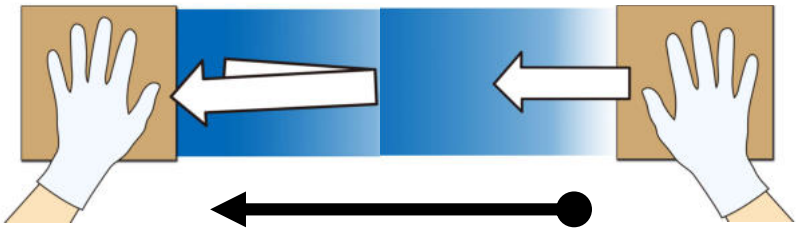


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

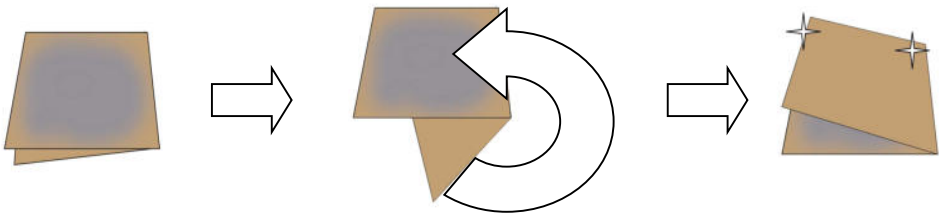
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。